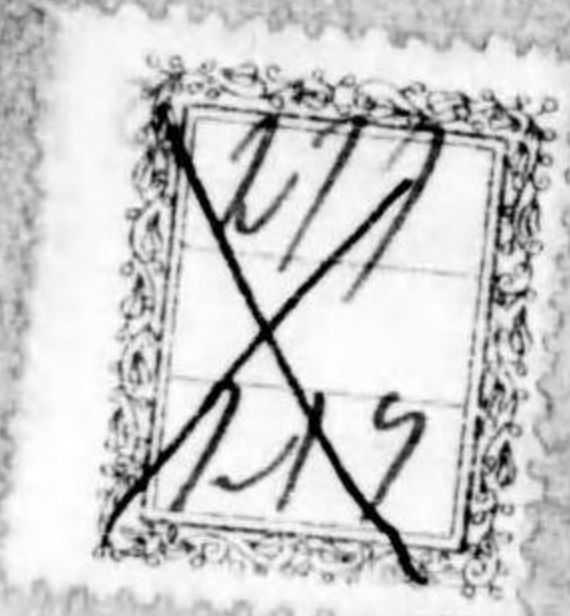


特105

94

正四年三月

京都府師範學校一覽



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

始



持105  
94

京都府師範學校一覽目次

第一章	沿革畧	一頁
第二章	教授訓育ニ關スル施設	一頁
一	旅行	一
二	體育ノ獎勵	一
三	學科ノ實驗演習	一
四	各種ノ會合	一
五	寄宿舎ノ諸制度	一
六	父兄トノ連絡	一
第三章	學校衛生ニ關スル施設	一九
第四章	職員ノ各種會合及研究	二
第五章	附屬小學校トノ連絡	二
第六章	卒業生トノ連絡	二
第七章	管内小學校トノ連絡	二
第八章	職員	二七
第九章	卒業生	三八
第十章	生徒	七九
第十一章	經費	八三

八三 七九 三八 二七 二五 二三 二二 一九 一七 一五 一二 一〇 一頁

大正  
4. 5. 3

# 京都府師範學校一覽

## 第一章 沿革略

本校ハ明治九年五月上京區舊准后里御殿ヲ假校舍ニ充テ始業シ同六月二日開校式ヲ舉ゲタルヲ以テ創始トス。十年二月明治天皇本府中學ニ臨御本校生徒ノ學藝ヲ徵覽アラセラル。十二年校舍ヲ中學校構内（現在京都府廳裏手）ニ新築シ十二月移轉ス。十五年二月新ニ附屬小學校ヲ設置ス。十九年四月女子師範學校ヲ加設ス。二十一年三月寺町通荒神口下ル中學校跡（現在府立第一高等女學校敷地）ニ移轉ス。三十年十一月府會ニ於テ勅令ノ趣旨ニ基キ大ニ本校ヲ擴張スベキ方針ヲ以テ議案ヲ附議セラレンコトヲ府知事ニ建議シタルヲ以テ擴張議案ヲ發セラレ遂ニ其ノ決議ニ由リ三十一、三十二年度ニ於テ本校及寄宿舎ノ新築及移轉改築ヲナシ三十三年度ニ於テ附屬小學校ヲ新築スルコト、ナレリ其ノ費額總計金拾參萬五千餘圓、三十四年四月竣功ニツキ文部大臣代理梅總務長官臨場本校竣成式并ニ卒業式ヲ舉行ス是ニ於テ設備大ニ整頓ス現在ノ校舍即是ナリ。四十一年四月女子部ヲ獨立シ愛宕郡大宮村ニ女子師範學校ヲ設置セラル。四十三年九月東宮殿下本校ニ行啓アラセラレ授業成績品等御巡覽御機嫌麗ハシク還啓遊バサル。

## 第二章 教授訓育ニ關スル施設

### 一、旅行

#### 一、伊勢神宮參拜

生徒在學中一回伊勢地方ニ神宮參拜ノ爲メ旅行セシム、經費其ノ他ノ事情ニヨリ四ヶ年ニ一回全校生



神泉苑	二條城	(大極殿址)	(內裏址)	西陣	北野神社	建勳神社
高臺寺	三條大橋	高瀬川	(東京極)	梨木神社	(法成寺址)	上御靈神社
高臺寺	三條大橋	高瀬川	(東京極)	梨木神社	(法成寺址)	上御靈神社

第二學年

紫式部ノ墓	小野ノ墓	大德寺	金園寺	鏡石寺	龍安寺	仁覺寺	清涼寺	二尊院	小倉山	天龍寺	大堰川		
西野神社	大原野神社	花ノ寺	三ノ寺	善ノ寺									
泉福寺	東福寺	高壽寺	(法性寺址)	船荷神社	東麿	藤ノ森	桓武御陵	桃山御城	御香宮	梅修寺	勸修寺	田村將軍ノ墓	山科御坊
清瀧山	愛宕山	高岩山	神護寺	清麿ノ墓									
詩仙堂	金福寺	修學院	八瀨院	大瀨原	小野院	三子院	寂光院	三宅院	勝林寺御陵				
鞍馬	二ノ馬	鞍馬ノ寺	貴船神社										

第三學年

大悲園	太秦園	双ヶ岡	妙心墓	象山墓	象樂墓	(聚樂橋址)	一條橋
元慶寺	天智御陵	天智御陵	蹴上ヶ	蹴上ヶ	蹴上ヶ	蹴上ヶ	蹴上ヶ

第四學年

郵便局	電話交換局	島津製作所	京都瓦斯會社	農業講習所	帝國鐵道院運輸課	內國通運株式會社	倉庫株式會社	高等工藝學校	醫學專門學校	府廳內肥料檢査所	肥田檢査所	桃山農事試驗場	商業學校	日本銀行	商品陳列所	測候所	日出新聞社	大文字山	
水利事務所	陶磁器試驗場	硝子製造所	煙草專賣局印刷所	農業科	商業科	商業科	商業科	商業科	商業科	商業科	商業科	商業科	商業科	商業科	商業科	商業科	商業科	商業科	商業科
桂農學校	同農事試驗場	商業會	商業會	商業會	商業會	商業會	商業會	商業會	商業會	商業會	商業會	商業會	商業會	商業會	商業會	商業會	商業會	商業會	商業會
第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期

六、神社參拜

敬神ノ儀ハ我國道德ノ根源ナルヲ以テ生徒ナシテ敬虔ノ念ヲ深カラシメン爲ニ常ニ神社ヲ尊崇スベキコトヲ教ヘ特ニ上賀茂神社ハ本校所在地ノ氏神ナルヲ以テ其祭典ノ日ニハ生徒全體ヲシテ早朝參拜セシムルコトニ定メタリ

七、學年旅行及世話係旅行

又京都市及市附近ニ祭祀セララル、官幣社ニハ在學中一回生徒全體ヲ引率シテ參拜セシム職員生徒ノ親密ヲ計ルヲ其目的ノ一ニ加ヘ毎年一回學年旅行(學年主任ト其學年生徒ト共ニナスモノ)世話係旅行(世話係ト其擔任生徒ト共ニナスモノ)ノ企テアリ

一、體育ノ獎勵

一、劍道及柔道

明治二十八年以來全校生徒ニ劍道柔道二者ノ中一ヲ選ビテ修練セシメ居レリ劍道及柔道器具ハ生徒各自ニ之ヲ所持セシメ一週二回放課後一時間宛正科ニ準ジテ之ヲ課ス全校生徒約四百人中三分ノ二ハ劍道ヲ三分ノ一ハ柔道ヲ選ビ居レリ毎年一月十一日ヨリ三週日間ハ寒稽古ト稱シテ全校生徒毎日約一時間修練ニツトム身心ノ發育上効果ノ著シキヲ認ム其ノ技ニ於テモ進歩著シキモノアリ在學生中常ニ柔道ノ有段者數名ヲ數フ現在ニ於テハ初段ノモノ三名アリ劍道ハ武德會ノ催ニカ、ル最近ニ於ケル京都市及附近中等以上ノ學校十數校ノ連合定期大會ニ於テ本校選手十名ハ悉ク優勝ノ地位ヲ占メ優勝刀ヲ本校ニ收メタリ試ニ本校柔道部ニ於テ修練シ在學中有段者トナリシモノ、姓名ヲ舉グレバ左ノ如シ

卒業生有段者

三 段	岡村 豐作	山田 安次郎	茨 木 一
二 段	有田 辰三		
初 段	清水 久次郎		
	柴田 安次郎	二階堂 光尙	宇 古 剛 一
	德田 九一	田 中 忠 七	田 中 慶 治 郎
	中山 三之雄	岩 根 喜 六	川 瀬 敬 一 郎
	須藤 健吾	高 元 吉 郎	藤 田 庄 兵 衛
	飯田 時藏	水 置 茂 太	石 田 秀 太 郎
	吉良 佐太郎	稗 田 宇 一	植 村 義 一 郎
	吉 井 好 一	平 和 惇	

二、庭球、野球、蹴球、徒歩  
柔道劍道ノ外生徒ハ庭球、野球、蹴球、徒歩等隨意ニ其一或ハ一以上ヲ選ビテ體ヲ練磨シ居レリ今武道其他各部ノ豫算ヲ示セバ左ノ如シ

金八百貳拾八圓

職員生徒ノ釀出ニカ、ル豫算總額

内譯

徒 步 部

金貳拾參圓

金八拾五圓  
 金百參拾圓  
 金百七拾五圓  
 金九拾圓  
 金貳百貳拾圓  
 金六拾圓  
 金四拾五圓

蹴球部  
 野球部  
 庭球部  
 柔道部  
 劍道部  
 雜備費

三、強行遠足

強行遠足ハ辛苦艱難ニ耐ヘシメ心身ヲ鍛練スルヲ以テ目的トス往復凡ソ十五里ノ行程ヲ選ビテ一日ノ旅行ヲナサシム毎年一回四月之ヲ行フ遠足ノ方面ヲ定ムルコト四ツ之ヲ示セバ次ノ如シ  
 一ハ八瀨大原ヲ經途中越ヲ越エテ堅田ニ出テ坂本大津ヲ過ギテ歸校スルモノ此行程凡十四里  
 二ハ雲ヶ畑ヨリ山國ニ出テ周山ヨリ鷹ヶ峰ヲ過ギテ歸校スルモノ此行程約十四里  
 三ハ愛宕山ニ上リ南桑田郡ニ下リ出雲社ニ詣テ保津龜岡ヲ過ギ老坂ヲ經テ歸校スルモノ此行程約十五里  
 四ハ比叡山ヲ越エ坂本大津ヲ過ギテ石山寺ニ至リ笠取村ヲ醍醐ニ出テ蹴上ゲテ經テ歸校スルモノ此行程約十六里、四ツノ中最モ難シトスル所ナリ  
 右ノ四方面ヲ選ビシハ生徒在學中各方面ヲ踏破セシムムガ爲ナリ明治三十七年以來實施シ今日ニ至レリ

四、團體競走

團體競走ハ每年春秋二回之ヲ實施ス本校々庭ヲ發シ新町頭ヨリ鞍馬口通ヲ西シテ金閣寺前ニ至リ平野

神社前通りヨリ左ニ折レ同社門前ヲ過ギ大將軍ヲ過ギ椿寺ヨリ右ニ曲リ御室ヲ過ギ鳴瀧ヨリ左ニ取リ釋迦堂ニ至ル此間二里十四町ヲ算ス

團體競走ハ其實施ノ當初ニ於テハ各學級一團ヲナシテ駢足競走ヲナセシガ身體薄弱ノモノニ於テハ勢運動過激トナリ爲メニ身體ノ鍛練ト云フヨリモ疲勞上ノ弊ヲ認ムルモノアリシヲ以テ更メテ生徒ヲシテ個別的ニ馳驅セシメ一定時ニ到着セシモノ、數ヲ算シ其學級ノ人員ニ對スル律ノ多少ニヨリテ優劣ヲ定メタリシガ後又之ヲ變更シ現今ニ於テハ名ハ團體競走ナルモ此競走間ニ於ル個人競走ニ重キヲ置キ先着ヨリ五十番迄ニ到着セシモノヲ旌表シ先着者ノ到着時ヨリ十五分以内ニ到着セシ人員ヲ調査シ其人員ノ各學級人員ニ對スル律ヲ出シ其律ノ良好ナルヲ優勝學級ト定ムルコトセリ而シテ此優勝學級ハ其順位ヲ生徒ニ公示スルニ止メ特別ナル旌表ヲ行ハズ此レ發育ノ最モ熾ナル時期ニ於テ一學年ト四學年トハ年齡ニ於テ四ケ年ノ相違アルニ之ヲ計算ノ中ニ置カズシテ競走セシムルノ弊ヲ認メシニヨル

二、學科ノ實驗演習

(一) 博物理化學ノ實驗、及簡易器械ノ製作

博物理化學ハ每時生徒ヲシテ實物ニツキ又ハ各自實驗ニヨリテ智識ヲ習得セシムルコトヲ期シ居レリ本校ニ於ケル該科ノ施設トシテハ化學博物ハ稍其完キヲ得シモ物理ニ至リテハ設備尙不充分ナルヲ以テ教室方面ノ整理ニ意ヲ用井來年度ヨリ博物理化學物理共ニ每時各教材ニツキテ生徒ヲシテ自ラノ實驗觀察解剖ニヨリテ智識ヲ習得セシムム豫定ナリ

小學校ニ於ケル物理化學教授上必要ナル簡易裝置及器械ノ製作ニ練熟セシムルコトハ頗ル必要ナルヲ以テ年々生徒ヲシテ之ヲ工夫製作セシメツ、アリ

又理化學的智識ノ應用トシテ生徒ニ特種研究問題ヲ與ヘ實際應用ノ方面ヲ研究調査セシメ或ハ各種工場等ニツキテ物品製作ノ順序方法等ヲ實地ニ研究セシメテ之ヲ報告セシメ一般生徒ニ之ヲ公示シ社會各方面ニ於ケル生キタル理化學的智識ヲ附與スルコトニツトメ居レリ

(二) 地理歴史科ノ演習

地理歴史科ノ演習ハ從來生徒ノ小學校奉職後自ラ適切ナル教具ヲ製作セシムル技能ト趣味トヲ得シムル目的ヲ以テ課シ來リシモ其設備完カラズ遺憾ノ點尠ナカラザリシヲ以テ本年度ヨリ地理歴史科教員室ノ隣室ニ演習室ヲ新設シ生徒ヲシテ教員指導ノ下ニ圖表其他教具製作ノ演習ニ從事セシム

(三) 郷土ノ研究

郷土ヲ研究シ郷土ニ關スル地理歴史博物上ノ智識ヲ與フル爲メニ博物科ニ於テハ其第一着手トシテ京都府下ニ於ケル萬般ノ植物ヲ採集シ之ヲ分類シ生徒ヲシテ夏季其他ニ於テ自ラ採集セシ所ヲ是等標本ニ照合シテ研究セシメ又一ニハ府下ニ於ケル植物分布其他ノ智識ヲ與フルコトヲ計劃セリ目下其收集ヲ終リ分類整理中ナリ

又地理科ト博物科ト協力シテ附近ノ地殼ヲ構成スル岩石ヲ集メテ之ヲ生徒ノ遠足方面ニヨリテ分類指示シ生徒一日ノ遠足ノ傍ラ地質ノ研究ニ便シ居レリ未ダ完成ニ至ラズト雖モ附近數里ノ間ハ大要指示得ル材料ヲ得テ之ヲ陳列シ生徒ヲシテ隨意ニ研究セシメ居レリ

(四) 臨海示教

郷土ノ地理歴史事項ヲ指導セシメン爲メ一二學年ニハ年數回見學旅行ヲ實施シ居レリ  
每年一二學年生ヲ海岸ニ十日間旅行セシメ水泳教育ノ傍ラ海產動植物及地理的事項ヲ實地ニツキテ指

導シ居レリ從前ハ三重縣津方面ニ行キシモ後府下與謝郡由良ニ變更シ昨年ヨリハ若狹國高濱ニ更變ス高濱ノ地水泳ニ便ナルノミナラズ又地理博物上ノ指導ニ至極適當ナルヲ以テ爾後高濱ニテ實施ノ豫定ナリ大正三年度ノ如キハ生徒百二十名中三里半以上ノ遠泳者三十一名ヲ見ルノ盛況ヲ見タリ

(五) 習字圖書手工展覽會

習字圖書手工等生徒ノ技能ニヨル學科ノ進歩向上ヲ計ランガ爲メニ每學期一回全生徒ノ成績展覽會ヲ開ク從來ハ習字圖書ノ二科ニツキテ實施シ來リシモ大正四年度ヨリハ手工ヲモ之ニ加フル豫定ナリ

(六) 夏季休暇課題成績展覽會

四旬ニ餘ル夏季休暇ヲ心身ノ休養ト共ニ有効ニ過サシム爲メニ適切ナル課題ヲ與ヘ休暇後之ヲ學校ニ提出セシメ教員ニ於テ一應調査ノ上九月下旬ヲ期シテ展覽會ヲ開キ居レリ學科ハ修身教育國語等ヨリ理科圖書手工習字等各般ニ亘ル就中修身教育ノ如キハ上級生ニ之ヲ課シ參考書ノ讀破ト其ノ大要ノ摘録ヲナサシメ博物ノ實物採集(動物ノ骨骼、岩石、植物等)理化學ノ地方迷信ノ研究、地理歴史科ノ郷土誌ノ研究、圖書科ノ寫生等ハ其主要ナルモノナリ各學年共各學科ニ亘リテ多數出題セラレ、モノノ中必題二、隨意題一以上ニ答ヘシメ居レリ

(七) 音樂會

音樂技能ノ修練ヲ助ケ音樂ノ趣味ヲ發揮セシメン爲メニ毎年春秋二回之ヲ開ク正科ニテ常ニ練習シ得タル所ヲ學級全體ニテ演奏スルコトアリ又ハ特ニ練習シ得タル所ヲ個々ニ演奏スルコトアリ或ハ來賓又ハ知名ノ音樂家ニ演奏ヲ依頼スルコトアリ、每會附屬小學兒童ノ一部ニ參加ス

(八) 教務實習

生徒ヲシテ學校事務ノ一部ヲ練習セシム爲メニ第三學年生二部生ヲシテ交互ニ當番ヲ定メテ教務實習ニ當ラシム或ハ圖表ヲ製作セシメ、或ハ教授用ノ器具ヲ修理整頓セシメ居レリ職員側ニモ教務實習



生指導當番ヲ置ク

(九) 課外研究

生徒中特ニ或ル學科ニ趣味ヲ有シ其科ニツキテ深ク研鑽セントスルモノ、請テ容レ課外研究トシテ教員指導ノ下ニ研究シ居レリ多クハ第三學年以上ノ上級生ナリ從來實施セシハ國語漢文、英語數學理科農業等ナリ

(一〇) 樂器使用法實習

樂器使用法實習ノ爲メ樂器練習室及各教室ニ樂器ヲ配置シ第一學年ヨリ生徒ニ實習セシメ居レリ現今使用セル樂器數二十四個ナリ大正四年度ニハ更ニ二個ヲ加フル豫定ナリ生徒ハ毎日課外ニ於テ大凡四時間ノ練習時ヲ定メ各生交代ニ自習シ教員ハ晝食時及放課後ニ之ガ指導ヲナシ又特ニ正課時間内ニ指導ス

四、各種ノ會合

(一) 校友會

校友會ハ身體ヲ練磨シ精神ヲ修養シ會員相互ノ切磋協力ニヨリ高潔善美ナル校風ヲ發揚スルヲ以テ目的トシ此目的ヲ達スル爲メニ講話部、圖書部、運動部ノ三部ヲ置ク講話部ハ毎月一回開會シ會員相互ニ講話演說ヲナス外臨時ニ名士大家ヲ招キテ講演ヲ請ヒ居レリ最近ニ於テハ桑木嚴翼博士ノ近代思潮ニ對スル批評ノ十回講演、藤井健次郎博士ノ現代ノ倫理思想ニ關スル講演、堀切視學官ノ選舉ニ關スル講演、猶崎講師ノ酒ノ害ニ關スル實驗心理學の立場ヨリ歸結セル講演等ハ其主ナルモノナリ又時々講師ヲ聘シテ全校生徒一席ノ歡ヲ得ル講演ヲ聞クコトアリ或ハ蓄音機ニヨリテ歐米名士ノ聲樂器樂ヲ味フコトアリ學校全般ニ關スル私的會合ノ臨時的ノモノハ多クハ

此ノ講話部ノ催ニテナサル

圖書部ハ寄宿舍内ニ圖書室ヲ設ケ多數ノ圖書ヲ藏シ又毎年新刊書ヲ購入シテ會員ノ閱覽ニ備ヘ居レリ貸出シ時間ハ毎日放課後ヨリ午後九時マデナルモ圖書室ハ晝夜開放セラレ辭書ノ使用官報府公報各種雜誌(十數種)ノ閱覽ニ便ジ居レリ四季ヲ通ジテ圖書室内人影ヲ見ザルハ午後十二時ヨリ五時頃迄少許ノ時間ナルベシ

運動部ハ學校ノ施設セル體育事業ヲ補佐シ平常之ガ獎勵ニ努ムルノ外適當ノ時機ニ競技會又ハ運動會ヲ開催シ之ガ發達ヲ圖リ居レリ

而シテ以上ノ事業ハ殆ド凡テ生徒中ヨリ選出セラレタル各役員ニ因テ運轉セラレ居レリ今校友會ノ經費豫算ヲ示セバ左ノ如シ

金四百參拾八圓參拾錢

大正三年度總收入豫算

內 譯

金四拾參圓八拾參錢	講話部	費
金百四拾圓貳拾六錢	圖書部	費
金百圓八拾壹錢	運動部	費
金參拾五圓六拾四錢	雜誌部	補助
金六拾五圓七拾五錢	新入會員	歡迎費
金參拾圓六拾八錢	雜費	費
金貳拾壹圓九拾壹錢	豫備費	費

(二) 義士會

義士ヲ追懷シ遺範ヲ求ムル爲メ此會ヲ我校ニ開クコト茲ニ年アリ其始メハ毎年十二月十四日ノ夜義士

吉良邸打入ノ時刻ニ之ヲ行ヒ主トシテ義士ニ關スル講話ト義士傳朗讀トナセシモ時恰モ第二學期末ニ際シ學事多端ナルヲ以テ當日ハ義士ノ遺髮塔ト四十七士ノ墓ノ所在ナル瑞光院ニ參拜シ兼テ院ニ藏スル義士ノ遺物ヲ觀覽スルニ止メ二月四日義士切腹ノ日ヲ紀念トシ茲ニ義士ニ關スル講話ヲ聞クコト、シ四年ニ一回(生徒在學中一回ニ當ル)大講演會ヲ開キ義士ヲ追懷スル事トセリ

(三) 圖書展覽會

生徒中特ニ圖書ニ趣味ヲ有スルモノ相計リテ每學期一回展覽會ヲ開ク多年波光會ノ名稱ノ下ニ生徒自ラ此會ヲ主催シ圖書擔任教員ノ鑑查ノ下ニ開キ來リシガ近時改稱シテ兎兒會ト稱シ從來ヨリモ一層熾シニ研究ヲ續ケ居レリ

(四) 臨池會

生徒中書道ニ趣味ヲ有スルモノ相計リテ臨池會ト稱スル書會ヲ催シ居レリ凡每學期一回之ヲ開ク此會ハ最近ノ催ニカ、ル、學校長、國語科擔任教員、習字科教員、友岡書記、前職員黒本植氏等每會出席シ指導獎勵ノ任ニ當リ居レリ會員ハ其平素揮毫スル所ノモノヲ陳列相互ニ批評スルノミナラズ席上揮毫ニ大ナル趣味ト氣焰ヲ舉ゲ居レリ

(五) 學年會

學年主任ト生徒トノ親睦ヲ圖リ其學年ノ智徳ノ修養ニ資センガ爲メニ學年會ヲ開ク席上茶菓ヲ置キ打解ケタル會合ナリ每學期凡一回之ヲ開ク時ニハ學年遠足ヲ以テ之ニ更フルコトアリ

(六) 部會

各郡別ニ從ヒ本校教員一名世話係トナリ其地方出身生徒ノ身上ニツキ父兄ニ代リテ世話シ居レリ以テ是等生徒ト世話係トノ親睦ノ爲メ各學期凡一回郡會ヲ開クコレ又打解ケタル會合ニシテ校内ニ開カル、事アリ又寺院其他ノ席ヲ借リテ開カル、コトアリ時ニハ遠足ヲ以テ之ニ更フルコトアリ

五、寄宿舎ノ諸制度

(一) 役員制度

寄宿舎生活ニ於ケル各般ノ事務ヲ進捗セシメン爲メ生徒中ヨリ役員ヲ互選セシメ學校長之ヲ任命ス役員ハ舍監指導ノ下ニ舍風ノ改善ト庶務ノ處理トニ關シ其事務ヲ分掌スルモノトス

役員及役員ノ分掌事務左ノ如シ

- 一、週番室長及副週番室長  
週番室長ハ舍内全般ノ風紀衛生給與及警備ニ關スル事務ヲ掌ル副週番室長ハ週番室長ヲ補佐シ其事務ヲ分擔ス
- 二、當番室長  
各寮ニ一名ノ當番室長アリ一週間毎ニ交代シ其寮ニ於ケル室内ノ風紀衛生及警備等ニ關スル事務ヲ掌ル
- 三、室長  
室内ノ風紀衛生給與及警備等ニ關スル事務ヲ掌ル
- 四、炊事係長  
炊事係長ハ食堂、浴室、洗面場、炊事場ノ取締炊事及沐浴ニ關スル事務ヲ掌ル
- 五、衛生係長  
衛生係長ハ病室、診斷室ヲ取締リ一般ノ衛生及療養ニ關スル事務ヲ掌ル
- 六、圖書係長  
圖書係長ハ圖書閱覽室ヲ取締リ圖書ノ購入保管及閱覽ニ關スル事務ヲ掌ル

七、休養係長

休養係長ハ休養室（遊馬亭）ヲ取締リ休養娛樂ニ關スル事務ヲ掌ル

八、統計係長

統計係長ハ日々生徒ノ事故ヲ調査シ各種ノ統計表調製ニ關スル事務ヲ掌ル

九、副係長及係員

各係長ノ下ニ副係長及係員ヲ置キ副係長ハ各其係長ヲ補佐シテ事務ヲ分擔シ係員ハ其係長ニ屬シテ各其事務ヲ助ク

十、當直

舍監及週番室長ノ所用ヲ辨シ兼ネテ舍内ノ事情ニ通ゼシメンガ爲メニ第一學年ヨリ四名ノ當直ヲ出シ一週毎ニ交代其務ニ當ラシム

(二) 購買部

購買部擔任舍監指導ノ下ニ購買係長首腦トナリテ寄宿舍ニ購買部ヲ設ケ日用雜貨及學用品ヲ賣捌キ居レリ

毎日放課後ヨリ夕食時マデ第三學年生交代ニ其任ニ當ル定メナリ

(三) 自炊制度

炊事部擔任舍監指導ノ下ニ炊事係長首腦トナリテ炊夫七名ヲ使役シ自炊制度ヲトリ居レリ

第三學年ヨリ出ヅル係員ハ每週獻立表ヲ作製シ炊事係長ノ檢閲ヲ經テ之ヲ決定シ米穀ノ購入魚肉菜蔬ノ購入、日々ノ米ノ出納等一切ノ事務皆生徒之ニ當リ居レリ

(四) 衛生

衛生事務ヲ分擔スル舍監指導ノ下ニ衛生係長係員舍内各般ノ衛生事務ヲ處理ス、日常ノ衛生ヨリ隔週

實施セラル、舍内外大掃除ニ於ケル衛生事項、生徒ノ發病負傷等ノ手當、傳染病患者發生ノ場合ニ於ケル消毒事務、毎年學校ニテ實施セラル、全般生徒ノ身體檢查ニ關スル事務、卒業生ノ身體檢查ニ關スル事務ニ至ルマデ一切ヲ分掌ス

(五) 洗濯

洗濯婦三名ヲ雇備シ西洋洗濯ニヨラザレバ不可能ナル物品ヲ除キ寄宿舍全生徒ノ洗濯物ノ世話ヲナサシメ居レリ其綻ビタルハ繕ヒ其破レタルハ之ヲ綴リ又洗濯婦ノ一人ハ生徒中稍重病ニシテ病室ニ入室セルモノアル場合ニハ其看護ニ當ル定メナリ

(六) 役員會議及生徒ノ制裁

各室長各係長等相會シテ舍風ノ改善庶務ノ處理又ハ偶發事項ニツキテ會議シ舍監ノ許可ヲ得テ實施シ居レリ  
舍生中舍ノ善良ナル風習ヲ破ルモノ又ハ自ラ修マラザルモノニ對シテハ室長ニ於テ先ツ忠告改悛セシメ尙其改マラザルモノニ對シテハ役員會議ニ於テ其處置ヲ決定シ重キモノハ舍監ニ申出デ、其指揮ヲ受ケ輕キモノハ役員ニテ戒メ居レリ  
或ハ各學年ニ於テ自ラ修マラザルモノ若クハ級風ヲ害シ級ノ不名譽ヲ來スモノヲ發見スル場合ニハ時宜ニ從ヒテ忠告シ其改マラザルモノハ舍監ニ申出ヅル定メナリ

六、父兄トノ連絡

(一) 學資保管

生徒入學ノ當初父兄ト相諮リ全校生徒ノ學資ヲ舍監ニテ保管シ居レリ父兄ヨリスル學資ノ送金ハ振替貯金ニテ拂込マシメ生徒各自ノ所有スル學資金保管簿ニ其拂込アル毎ニ記帳シテ與ヘ置キ生徒ハ毎週

水曜日午前中ニ其所用ノ金額ヲ保管簿拂出ノ欄ニ記入シテ舍監ニ提出シ舍監ハ其日ノ午後本校會計書記一名ト共ニ全生徒ノ學資金ヲ拂戻スモノトス、當初ハ其拂戻ニ約二時間ヲ要セシモ漸次熟練シテ約一時間以内ニテ全生徒ノ拂戻ヲ了スルニ至レリ

(二) 生徒世話係

生徒出身ノ地方別ニ從ヒ全校教員之ヲ分擔シテ生徒ノ私的生活ノ相談相手トナリ居レリ之ヲ世話係ト云フ一世話係ノ擔任スル生徒數ハ凡ソ二十名内外ナリ

生徒ハ其世話係ノ私宅ヲ時々訪問スル定メニテ殊ニ學期ノ終始ニハ世話係ノ私宅ニツキテ歸郷及歸校ノ挨拶ヲナサシム

世話係ト生徒トハ時ニハ郊外ニ遠足ヲ試ミ時ニハ一室ニ會シテ談笑シ和氣霽然ノ裏ニ生徒ノ修養ヲ助ケンコトヲ期待シ居レリ

(三) 家庭訪問

世話係ハ學校ノ休暇ヲ利用シテ生徒ノ家庭ヲ訪問シ親シク父兄ト談ヲ交ヘ生徒教養上ニ資シ居レリ此世話係制度ハ大正三年度ニ始メテ施設セシ所ナルヲ以テ家庭訪問モ未ダ全生徒ニ亘ラズト雖モ昨年夏季休暇ヲ利用シテ熊野、竹野、中、天田、南桑田、北桑田、愛宕、綴喜各郡ノ出身生徒約百有餘名ノ家庭ヲ訪問シタリ一二年後ニハ全生徒ノ家庭ニ及ボス豫定ナリ

(四) 父兄ノ召喚

前項家庭訪問ニヨリ又文書ニテノ通信ニヨリ家庭ト學校トノ連絡ハ稍密接ニ取り得ルモ尙生徒教養上必要ナル場合ニハ父兄ニ出校ヲ求メ居レリ或ハ舍監トシテ出校ヲ促スコトアリ或ハ世話係トシテ出校ヲ促スコトアリ或ハ學校トシテ出校ヲ促スコトアリ以テ父兄學校共同シテ生徒ノ教養ニ努ム

(五) 成績通知

家庭ノ父兄ヲシテ生徒ノ學業成績ヲ知悉セシム爲メ每學期其生徒ノ學業成績ヲ世話係ヨリ其家庭ニ通知シ父兄ハ其通知ヲ熟覽ノ後ハ之ニ捺印シテ學校ニ返附セシメ居レリ尙其學科ニツキテ特ニ成績ノ不良ナルモノ或ハ素行上特ニ注意ヲ促ス必要アルモノニ對シテハ世話係ヨリ學業成績通知ノ際其旨父兄ニ通信シ居レリ

第三章 學校衛生ニ關スル施設

一、學校醫、囑托醫

學校醫兼囑托醫一名ヲ置ク學校醫ハ毎年定期ノ生徒身體檢査ノ外每週三回(月、水、金)出校シ生徒ノ病氣ヲ診察シ又學校衛生其他ニツキテ視察シ居レリ

二、生徒衛生係

生徒中互選ニヨリテ衛生係長同副係長各一名各寮ニ衛生係各一名ヲ置キ生徒ノ衛生ニ關スル各般ノ事項ヲ處理セシム

衛生係長、同副係長ノ許ニハ各衛生箱ヲ置キ脱脂綿、繃帶木綿、沃度丁幾、萬創膏、コロ、ダイソ、吸入器等應急藥劑ヲ備ヘ事故アル毎ニ適宜ノ處置ヲ取り居レリ

重病者發生ノ場合之ヲ病室ニ移シテ治療セシムルガ如キ或ハ傳染病患者發生ノ場合室内ノ消毒事務ニ當ルカ如キハ皆衛生係長及衛生係ノ主ナル任務ニシテ一般生徒ハ係長及係ノ指圖ニ從ヒテ是等ノ任務ニ服ス

舍監ノ内一名衛生事務ニ當リ是等係員ノ相談相手トナリ又其指揮者トナリ居レリ

三、校舍校庭ノ掃除整理

校舍校庭ノ掃除ニツキテハ之ヲ本校ト寄宿舎トニ分チ本校ニ於テハ校舍係校庭係ノ各主任教諭アリテ

全般ノ事務ヲ統ベ各學年主任之ヲ助ケ生徒ト協同シテ掃除整理ノ任ニ當リ居レリ  
日々掃除整理

各教室共生徒中ヨリ當番ヲ定メ日々其洒掃ニ當リ居レリ  
月次大掃除整理

毎月一回校舍校庭全部ニ亘リテ大掃除整理ヲ爲ス此ノ場合校舍ノ床ハ刷毛ヲ以テ清潔ニ洗ヒ蜘蛛ノ巢  
ヲ拂ヒ硝子窓ヲ拭ヒ各室備品ニ拭布ヲカケ床面ニ墨汁等ノ痕跡ノアルモノハ藥品ニテ之ヲ清潔ナラシ  
ム

校庭ハ之ヲ各學級ニ分擔セシメ毎月一回除草整理セシム秋季落葉ノ節ニハ臨時整理ノ度ヲ多カラシム  
年次大掃除

每年四月及九月ノ二回月次大掃除ヲ一層丁寧細密ニ實施セシム

寄宿舎ニ於テハ毎朝室内及廊下ヲ洒掃セシメ又隔週水曜日ニ舎内外大掃除ヲ實施セシム

四、近視眼者ノ取扱  
近視眼豫防ノ目的ヲ以テ常ニ自習室ニ於ニケル採光、電燈ノ光力ニ注意スルトトモニ教室内ニ於テモ  
近視眼者ノ席ハ室内前方教壇ニ近キ所ニ設ケ黑板上ノ文字ヲ見ルニ過勞ヲ來スコトナカラシメ毎年一  
回眼科専門醫ニ托シテ生徒ノ眼疾ノ有無及其程度ヲ調査シ近視遠視ノモノハ之ヲ帳簿ニ録シテ其使用  
眼鏡ノ程度モ之ヲ記載シ生徒ニ對シテハ學校長ヨリ眼鏡使用許可ノ證票ヲ授ケカクテ年々其ノ經過狀  
況ヲ調査シ居レリ

五、卒業前ノ身體検査  
毎年二月其年度卒業スベキ生徒ノ身體検査ヲ特ニ施行シ疾患者ハ之ヲ治療セシメ呼吸器其他ノ疾患ニ  
シテ卒業スルモ直チニ病褥ニ親シム懸念アル生徒ニハ特ニ治療保養セシメ其健康ニ復スルニ及ビテ卒  
業ヲ認定スル方針ヲ取り居レリ此レ近時卒業後間モナク病氣ノ爲メニ斃レ又ハ病氣療養ノ爲メ休職等  
トナリ赴任町村ノ教育事務ニ支障ヲ來スコト往々之アリシヲ以テ之ヲ防止センガ爲メナリ

### 第四章 職員ノ各種會合及研究

#### 一、職員會

校務ノ處理其他臨時ノ事項ヲ解決スル爲メ毎月凡二回職員會ヲ開ク常ノ會ハ本校教員ノミニ因テ組織  
セラル、モ事柄ニヨリテハ全職員ヲ集ムルコトアリ

#### 二、土曜會

教務舍務附屬小學校ノ事務打合せノ爲メ毎週土曜日打合會ヲ開ク學校長、教務主任舍務主任附屬小學  
主事之ニ列席ス

#### 三、舍監會議

舍務打合せノ爲メ毎水曜日ニ舍監會議ヲ第一舎内ニ開キ居レリ問題ニヨリテハ第二舎舍監之ニ列席ス  
四、教授法研究會

本校ニ於ケル教授法ノ改善進歩ニ資セン爲メ教授法研究會ヲ開ク學校長、教務主任其科擔任教員、關  
係學科擔任教員之ニ列席ス

#### 五、管理訓練研究會

本校ノ管理訓練方面ノ事項ヲ研究セン爲メニ開カル、會ナリ教務主任手許ニアル管理訓練ニ關スル各  
種問題蒐集簿ニ各職員ハ問題ヲ記入提出シ學校長時々之ヲ檢シ其最モ急ヲ要スルモノヨリ委員ヲ設ケ  
テ調査研究セシメ其答申ヲ待チテ之ヲ問題トシテ研究會ヲ開クモノトス

#### 六、教務打合會

教務ハ教務主任ノ外數名ノ教員之ヲ分擔シ時間割係、校舍校庭係、出納係、統計係、教務實習生指導係等ニ分レ居ルヲ以テ打合ノ爲メ毎月一回本會ヲ開ク

七、讀書會

職員相互ニ醜金シテ讀書會ヲ組織シ學校ニテ購入セザル新刊圖書ヲ購入シテ相互ノ閱覽ニ便ジ居レリ會ヲ名ケテ印須會ト云フ

八、清遊會

職員相互ノ親睦ヲ計リ時ニ一日ノ清遊ヲナスヲ以テ目的トス職員ノ新任轉任ノ際亦本會ニテ送迎ノ會ヲ催ス、職員ハ毎月若干金ヲ醜出シテ本會ノ資ニ充ツ

九、府學務課ト男女師範學校トノ打合會

府下初等教育ノ改善進步ト男女兩師範及府學務當局トノ意見ノ疏通ヲ計ル爲メ打合會ヲ每學期一回開催シ居レリ出席者ハ學務當局者及兩師範學校長、教務主任附屬主事ナリ會場ハ廻持チトシ會場ニ當リシモノ會ヲ司リ豫メ問題ヲ集メテ打合ノ資トス

十、級長會

教務其他ニ關シ指導上必要ニ應ジテ級長會ヲ開ク或ハ一、二學年級長會ナルコトアリ三、四學年及二部ノ級長會ナルコトアリ或ハ全校ノ級長會ナルコトアリ事柄ニ應ジ時宜ニ從ツテ之ヲ定ム

第五章 附屬小學校トノ連絡

一、小學校各科教授法ノ編纂

本校教諭ノ講ズル各科教授法ト附屬小學校ニ於テ指導ノ指導スル所トハ動モスレバ間隔ヲ生ジ教育實習ニ從フ生徒ヲシテ其適從スル所ニ迷ハシメ又相互ニ自然ニ其指導力ヲ鈍ラシムルコトアルヲ以テ本

校教諭ト附屬調導ト共ニ研究熟議ノ結果各科教授法ヲ編纂シ之ニ因テ本校ニ於ケル該科擔任教諭其ノ教授法ヲ講ジ附屬調導亦其精神ニヨリテ實際教授ノ指導ヲナスコト、セリ

二、本校教諭ノ附屬參觀

本校教務係ニ於テ毎週土曜日迄ニ翌週ニ於ケル附屬參觀割ヲ調製シ本校教諭ハ毎週一時間以上小學校ニ於ケル調導及教員ノ實地教授ヲ參觀シ或ハ意見ヲ交換シ或ハ指導ヲ與ヘ居レリ其附屬小學ノ施設一般ニ關スル事ニツキテノ意見疑義ハ附屬主事ノ列席セル本校教員會議ニテ各自ノ意見ヲ發表シ居レリ

三、研究發表

附屬小學校ニ於ケル某科目ノ研究發表ニツキテハ該科擔任教諭ハ附屬小學ト協力シテ其研究ニ任ジ或ハ地方小學校ヲ參觀視察シ或ハ近府縣ノ小學教育ヲ視察シ研究ノ資トナシ居レリ

四、參觀旅行ノ指導

毎年六回教育實習生ヲシテ小學校參觀ノ爲メ旅行セシム此ノ際本校教諭附屬調導各一名之ヲ引率シ共ニ力ヲ協セテ小學校ノ實際方面ニツキ指導シ居レリ

第六章 卒業生トノ連絡

一、各種出張ノ場合ニ於ケル連絡

卒業生就中學校卒業後二三年ヲ出デザル卒業生ト母校トハ常ニ連絡ヲ保チ其卒業後社會生活ニ於ケル疑義ニ對シテ相談相手トナリ又適當ナル指導者トナル事必要ナリ是等ノ目的ヲ以テ別項記載セル卒業生招集ハ企テラレタルモノナルガ其他本校教員ノ地方學事視察、家庭訪問旅行、教生ノ參觀旅行等ノ場合ニ於テ地方ニ出張スル教員ハ務メテ最近兩三年ニ於ケル卒業生ト會合シ前記ノ目的ヲ達スルコト

ニツトメ居レリ

## 二、卒業生招集

卒業年度ノ翌年度夏季休業中ヲ利用シテ卒業生ヲ本校ニ招集シ居レリ  
卒業後一ケ年餘ニ於ケル小學校ノ實務ノ經驗、其經驗ヨリ來ル研究ト疑義ノ發表或ハ社會生活ニ於ケル感想疑義或ハ生徒トシテ在學中斯ル方面ノ指導ト教授トヲ受ケタカリシ等母校ニ對スル希望等ヲ披瀝シ胸襟ヲ開キテ互ニ意見ヲ交換シ居レリ大正二年夏季ヲ初回トシ爾後毎夏實施シ來レリ

## 三、校友會誌ノ配布

本校在學生ノ組織セル校友會ニ卒業生モ亦會友トシテ加ハリ毎年一回會誌ヲ發行シ居レリ之ニ因テ卒業生ハ本校現時ノ狀況ヲ知り又卒業生相互ニ近況ヲ誌上ニ報導シ研究ヲ發表シ彼我ノ交情ヲ温メ居レリ

## 五、同窓會

卒業生相諮リテ同窓會ヲ組織シ毎年一回會誌ヲ發行シ又毎年一回母校ニ於テ大會ヲ開キ居レリ大會ノ際ニハ本校職員一同之ニ出席シ或ハ談話ヲ共ニシ或ハ食事ヲ共ニシ一日ノ清遊ニ懷舊ノ念ヲ充タシ居レリ

尙京都市ニ在住セル同窓ハ別ニ年一回京都同窓懇親會ヲ開キ母校職員一同亦之ニ參加スル習ヒトナリ居レリ

## 五、創立紀念日案内

毎年六月二日舉行セラル、本校創立紀念式ニハ卒業生ニ案内シテ參校ヲ促シ居レリ卒業生側ニ於テハ此紀念式ヲ盛大ニ舉行シ又其參列スル卒業生ヲ饗應スル資ニ充ツル爲メノ目的ヲ以テ十數年前ヨリ記念金ト稱シテ一定ノ金額ヲ記念金基金ノ中ニ寄附スルヲ常トス目下此基金ノ額千圓以上ニ達シ居レリ

## 第七章 管内小學校トノ連絡

### 一、研究發表

小學校ノ教材、教授法或ハ其科ノ施設等ニツキテ附屬小學校訓導ト本校教諭ト互ニ研鑽ヲ積ミ其ノ研究ノ纏ル毎ニ府下小學校關係者ニ案内シテ來會ヲ乞ヒ研究ヲ發表シ居レリ理科地理唱歌等ハ其最近ニ發表セシ所ナリ此ノ研究發表ハ絶エズ繰リ返シテ新研究ヲ附加シテ實施セン豫定ナリ毎學期數回之ヲ行フ

### 二、團體參觀

各種ノ目的ヲ以テ附屬小學校中心トナリテ團體參觀ヲ促シ居レリ最近ニ於テ實施セシハ京都市、山城五郡連合、相樂郡、綴喜郡、南桑田郡、船井郡等ナリ其目的トスル所モ一郡ノ小學校長ヲ舉ケテ小學校ノ全般ニツキテノ視察ト意見トヲ求ムルアリ或ハ特種ノ學科ニツキテノ參觀アリ或ル學年ノ擔任訓導ノ其擔任スル學年ヲ研究スルヲ以テスルアリ附屬小學校トシテハ多忙ノ傾向ナキニアラザルモ府下小學校教育ヲ益スルモノ多キヲ認ム

### 三、出張指導

土曜日或ハ日曜日ヲ利用シテ府下市郡ニ本校教諭附屬小學主事附屬小學校訓導等ヲ出張セシメ或ハ講演ヲナシ或ハ實地ニ教授シ或ハ教授ノ批評ヲ爲シ居レリ  
殊ニ與三郡ト稱セラレ、府下中、竹野、熊野三郡地方ノ如キハ僻遠ノ地トテ附屬小學ニテ時々實施スル研究發表ニモ出席ヲ見ルコト少ナク又團體參觀モ時ト費用トヲ要スル點ヨリ實施スルコト困難ナルヲ以テ本年度ニ於テハ當方ヨリ教諭、主事、訓導ヲ出張セシメ豫メ方案ヲ設ケテ與三郡六七ヶ所ニ全教員ヲ集メ各種方面ニ亘リテ意見ヲ發表シタリ其結果有効ナリシヲ以テ將來モ繼續實施スルノ豫定ナ

四、小學校教員研究發表會ノ計劃  
 小學校教員ナシテ常ニ發働的位置ニ立チ小學校教育ノ各方面ニ向ツテ研究セシメ其研究ヲ相互ニ發表シテ斯道ノ爲メニ研鑽セシムル目的ヲ以テ小學校教員研究發表會ヲ開催セントス其方法トシテ毎年二月召集セラル、郡市視學會ニ其次年度ニ實施スル計劃ノ大要ヲ發表シ地方ニ於ケル研究ヲ促シ翌年度期ヲ定メテ實施セン豫定ナリ第一回ハ大正四年五月ヲ期シテ歴史科ニツキテ行フコト、ナリ居レリ

五、教員講習  
 本校ニ於テハ前年度迄ハ卒業生講習ト稱シテ一科目又ハ二科目ヲ選ビテ一週日ノ短期講習ヲ實施シ卒業生中ノ其講習科目ニ特ニ趣味ヲ有スルモノ又ハ研究ノ必要ヲ感ズルモノヲ集メテ年五回實施シ來リシガ其結果良好ニシテ卒業生ト母校トノ連絡モ亦密接トナルヲ見タリ然レド其後卒業後五ヶ年以上ヲ經タルモノ、講習ヲ行フコト、ナリ、右ハ中止スルニ至レリ

大正四年度ヨリハ本校ニ豫算ヲ置カレ年五回(内一回ハ小學校長、二回ハ小學校本科正教員、二回ハ尋常小學校本科正教員)講習ヲ實施スルコト、ナレリ

六、教員ノ地方小學校教育ノ視察  
 來年度ヨリハ本校教員ナシテ地方小學校ノ視察ヲ一層多クセシメ又其視察參觀ノ際ニハ各小學校ニ於テ參觀ノ目的ヲ充分ニ達シ得ル様時間割ヲ變更シ其他便宜ヲ得ルコトニ郡市視學會ニテ申合ナシタリ此計劃ニシテ支障ナク實行セラレンカ教育刷新上ノ一手段タルベキヲ疑ハズ

### 第八章 職員

#### 創立以來職員表

校 長		校 長		校 長		校 長	
就職年月日	退職年月日	職 名	氏 名	就職年月日	退職年月日	職 名	氏 名
明治二五・九・五	一八・五・九	校長兼二等教諭	利根川 浩	一五・九・二	一五・五・三	校 長	柴崎 鐵吉
一九・二	三・三	校 長	八代 規	一五・五・三	一五・九・六	校 長	鈴木 光愛
三・九	二・三	校 長	加藤 正矩	一五・九・六	大正三・五・三	校 長	堀 義太郎
三・二	三・九	校 長	清水 誠吾	大正三・五・三		校 長	角谷 源之助
其他ノ職員							
就職年月日	退職年月日	職 名	氏 名	就職年月日	退職年月日	職 名	氏 名
明治二九・一	不 明	五等助教諭	中川 重麗	一五・九・五	一六・八	三等助教諭	野口 金藏
一三・三・六	一五・九・五	三等教諭	中山 親和	一五・九	不 明	三等助教諭	坪井 仙次郎
一四・一〇	不 明	七等助教諭	笠井 喜佐吉	一五・九	一六・七	書 記	林 幹
一五・六	一八・三	三等教諭	佐々木 貞助	一五・二	一六・八	三等助教諭	熊野 秀之軸
一五・九	不 明	三等教諭	小池 壽之太	一六・一	不 明	三等教諭兼書記	水越 義一
一五・九・五	不 明	三等教諭	田中 竹次郎	一六・三	不 明	三等助教諭	青山 正義
一五・九・五	不 明	三等教諭	矢野 達太郎	一六・八	一七・九	三等教諭	佐竹 靜枝













第九章 卒業生

一、卒業生年度別一覽

男子之部

第一回 明治十一年三月小學師範科

死亡 田中竹次郎 死亡  
市高辻通室町 柴田忠克 京都明倫校  
死亡 岡本清來 死亡  
市河原町三條下 田中芳正 市油小路松原下  
死亡 安田音四郎

第二回 明治十一年五月小學師範科

京都日彰校 關口秀範 神奈川足柄下郡役所  
播磨國網干校 岡本清川 在東京  
市西三本木丸太町上 山口直胤 死亡  
死亡 今井貞親 在朝鮮  
死亡 生間伴三郎 死亡

第三回 明治十一年十一月小學師範科

死亡 猪上能貞 死亡  
京都瓦斯會社 三浦一 船井郡摩氣村

增田富之助 死亡  
佐野駒太郎 死亡  
粟津梅麿 死亡  
小谷松太郎 京都新洞校

吉野久忠 死亡  
砂川政德 京都市盲啞院  
三宅二三 死亡  
芳野菊次郎 京都一橋校  
西村瀧之助

玉川直樟 紀伊伏見第二校  
前原源吉 死亡

村上雲聰 信  
川口有照

京都日本貯蓄銀行四條支店

岡山信夫

何鹿郡綾部町

茨木内藏之助

滋賀神崎御園

高橋藤三郎

死亡 神戸市兵庫水木道

八田巖吉

紀伊郡向島村役場

石川道之助

舊姓山下寬壽

青野正

在神戸 南桑田郡東別院村

野間勘助

大阪天王寺區裁判所

小森梅太郎 死亡

木村政次郎

松田長嘉

京都府伏見町 舊姓八木

鎌倉賢秀

死亡

安藤勝次郎

市西洞院榎木町上

川村定正

石川縣河北郡白尾村

廣瀬曉雪

北桑田細川尋高校

福井 曄

市西洞院榎木町上

小西鶴之助

船井郡竹野村 舊姓曉雲

小谷繁太郎

舊名純興

德田貞意

村井銀行京都支店長

山口吉

市御幸町二條

第四回 明治十二年六月小學師範科

奧 繁三郎

熊澤直廉 死亡

柳田晋之助

死亡 市三條高倉西

早瀬八郎

何鹿郡東八田村立農學校

沼田安藏

市五條堀川西

西村清

市新島丸太町下

岡村方知

宇治醜調尋高校

左右田忠太郎

乙訓郡久我村

淵田家宜

舊姓山本保太

大槻秀一

死亡

河合近直

京都市水道事務所

岡本安宅

京都第十五銀行

第五回 明治十二年十月小學師範科

河野泰通

石崎壽藏

京都市水道事務所

池田義貞

京都府第一中學校

第六回 明治十三年一月小學師範科

小林公松

森市太郎

加佐郡舞鶴

渡邊周彌

東京市麴町永田町校

第七回 明治十三年七月小學師範科

中村爲信 死亡

永井春太郎

加佐郡舞鶴

中西鼎

嶺 全 明

市河原町夷川下

死亡

松宮伊三郎

舊姓森加

大倉並藏

古谷和貴

大阪府廳

死亡

清水金八郎

舊姓森加

大倉並藏

古谷和貴

大阪府廳

死亡

清水金八郎

舊姓森加

大倉並藏

加佐與保呂尋高校

福井十馬藏

度島地方幼年學校

日比野 勇次郎

藤木重三郎

第八回 明治十四年二月小學師範科

市笹屋町千本東

宇都宮 安信

市一條室町東入

河合 正國

松岡 晋

京都新洞校

田中 鯉喜藏

死亡

石井義之助

京都仁和校

村松 良範

第九回 明治十四年二月小學師範科

市河原町三條上二丁目

尾崎 保

相樂郡役所

小林 辯次郎

愛宕郡田中村

大澤 芳太郎

死亡

中山 熊力

京都豐園校

榊見 清次郎

市神泉苑町三條下

川井 勝太郎

山口縣師範學校長

島田 次郎

在釜鮮

根本 吉太郎

市千本丸太町

松田 庸祇

死亡

廣瀨 爲四郎

京都高等女子手藝學校長

竹內 萬次郎

舊姓野村

菅沼 勘一郎

死亡

神谷 長之

栃木縣真岡中學校

笠間 奎雄

的場 連彌

土山 武敬

東京下谷區長

戶野 周次郎

死亡

飯野 勇次郎

死亡

北岡 保定

東京泰東同文局

市橋虎之助

何鹿郡物部校

野田 貞次郎

愛媛縣八幡濱校

新谷 信太郎

京都都文校

今村 貞幹

死亡

山室 慶次郎

朝鮮京畿道振武郡督學

岩佐 米次郎

第五師團經理部長

神田 菊次郎

仙臺市東華女學校

小鹽 均一郎

門司市古川鐵業會社

井上 定次

死亡

長谷 留吉

南滿鐵道會社地方課

岡本 辰之助

西原 光太郎

上松 寅三

京都第一高等小學校

南大路 勇太郎

京都府視學

砥山 仲藏

死亡

澤野 光之助

市油小路四條下

雄山 平二郎

市大宮頭神輿道

中西 良藏

京都立誠校

三須 正太郎

死亡

上月 義五郎

第一回 明治十五年六月五日中午師範科

岩崎 廣藏

市千本上長者町角

中村 元三

紀伊郡伏見町字竹中

四方 卯三郎

京師商業實業校

森西 嘉正

市塔ノ段毘沙門町

井上 彦次郎

京都新道校

麻生 國信

北桑田郡鶴ヶ岡

內牧 熊吉

在大阪

平井 長久

臺北臺灣舊慣調查會

小島 由道

何鹿郡口上林

大橋 方幸

長崎控訴院

福田 正巳

死亡

鈴鹿 正秀

市室町今出川上

山本 留藏

京都美術工藝學校

鈴鹿 勝近

中郡峯山町

植田 鏡太郎

加佐漆原尋高校

柴崎 備

東京早稻田大學講師

平井 廣五郎

大阪北區本庄東權現

河原 節

市室町二條八代方

笠原 順

谷

磯

何鹿口上林校 岩本又四郎 京都府隣校 岩井榮之助 市六原校舊姓松本 渡部卷太郎  
 東京京橋新富町四ノ二 谷 土用吉 東京深川木場町二八 石原友曉 市黒谷門前 大塚榮治  
 市上御靈馬場 山下好直 大坂梅田驛内國通運 會社支店 舊姓足立 山下省三 乙訓高等小學校 中西慎三  
 死亡 芳山靜次 伊藤祐紀 京都仁和校 舊姓桂 山下定次郎  
 滋賀縣廳森林課 和田鍾吉 加藤敬造 市丸太町川端東 上田國若  
 葛野海々畑校 保崎鎮太郎 船井下和知 町井貞雄 何鹿中上林 飯塚定直  
 綴喜大住村 岡本了敬 松江英夫 京都新洞校(退) 山田久恒  
 紀伊伏見町第二尋常校 小林久太郎 萩原福次郎 喜多詰吉祝  
 死亡 第三回 明治十五年十月二十五日中等師範科  
 長尾時春 市岩上三條上 萩原福次郎 川口金市  
 第四回 明治十六年三月中等師範科  
 長尾直胤 船井篠原尋高校 北原與市 死亡 小川檜三郎  
 甲村國雄 天田遷喬尋高校 恒川幸太郎 京都府教育會 岡本清逕  
 大阪南區鰻谷仲町一五 石井政吉 北桑田郡山國村 人長與三郎 葛野中川尋高校 大崎頼榮  
 死亡 三宅祐次郎 山本芳三郎 河原仁一郎 渡邊銓  
 葛野修道尋常校 寺田石郎 京華日報社 林 幸太郎 飯田兼之助  
 第五回 明治十六年七月十日中等師範科  
 天田郡雀部校 舊名清吉 蘆田靜逸 乙訓大藏尋常校 林 幸太郎 飯田兼之助  
 第六回 明治十七年二月十五日中等師範科

北桑田郡山國村 大前幸吉 東京日本橋萬歲生命 野崎勇次郎 村上純之助  
 第七回 明治十七年七月十四日中等師範科 保險會社  
 紀伊伏見第二校 大島耕之輔 死亡 山田宣敏 京都烏丸松原 藤森正供  
 第八回 明治十八年二月二十三日中等師範科  
 坂本源次郎 長野縣下紀井 藤井三郎 加佐河東尋高校 小墻近太郎  
 死亡 第九回 明治十八年四月八日中等師範科  
 澤村吾之助  
 第十回 明治十八年七月十四日中等師範科  
 河那部 辱三郎 京都日彰校 舊姓山村神 田駒太郎 京都第一商業校 服部敬三  
 朝鮮釜山水道事務所 左右田 幹次郎  
 第十一回 明治十九年二月二十七日中等師範科  
 死亡 土井英之亮 京都中立校 森村廣太郎 京都格致校 北部音太郎  
 北桑田内久保尋校 原田實 田中重吉 天田精華尋高校 井上常藏  
 船井下葉野校 舊姓奥谷井 爪由松 嶺田末雄 市富小路六角上 村田於菟次郎  
 死亡 今西源次郎  
 第十二回 明治十九年七月十六日中等師範科  
 船井川邊 片山敬太郎 大阪府鳴尾 添田慶次郎 死亡 田村尙德  
 京都商業實修校 舊姓森川 井手力之助 京都小川校 朝尾清記 北桑田周山尋高校 村山彌一  
 北桑田字津 和田治三郎 相樂山田莊第二校 大倉富之助 京都商業實修校 杉浦征房  
 第十三回 明治二十年三月十九日中等師範科



市一條通新町西入 舊姓岡本長次郎 田中靖長 紀伊郡伏見町 布浦伊三郎 死亡

死亡 河合熊男 和久重吉 綴喜三山木村 池田保之助

綴喜字智鄉村 長村榮次郎 大阪八尾中學校 西山全太郎 兵庫多可綴治屋町 舊姓井上延藏 藤井賴三

天田西中筋 大槻久米藏 粟飯原銀藏 京都成德校 死亡 足立竹藏

北桑田山國字大野 河原林 幾之助 沖繩宮古郡八重山校 平田謹吉 死亡 酒井恒治

第十四回 明治二十年五月十九日中等師範科 內田幸治

第十五回 明治二十年七月十二日中等師範科 葛野太秦尋高校 林宇之吉 久世寺田 奧源之助 何鹿以久田尋高校 緒方文三郎

天田郡上六人部村 大槻武一郎 船井摩氣 小林弘治

第一回 明治十五年十二月二十三日初等師範科 原田治郎 乾秀太郎

第二回 明治十七年一月三十一日初等師範科 宇治郡宇治尋高校 田村尙繼

第三回 明治十七年二月十五月初等師範科 相樂木津校 磯崎豐隆 久世淀町池上 內田成美

第四回 明治十八年二月二十三日初等師範科 京都島津製作所 荒木氏真

第五回 明治十八年四月八日初等師範科 京都商業會議所 小菅慶太郎

第六回 明治十八年五月七月初等師範科 北村匡

第七回 明治十八年十月三月初等師範科 稻田泰治

死亡 第八回 明治十九年二月二十七日初等師範科 綴喜字治田原 西山猶次郎 死亡 原井鈞作

第九回 明治二十年五月十九日初等師範科 兵庫加古高砂校 廣田虎之助 中島真太郎 加佐岡田下校 森下榊藏

北桑平屋校 伊藤岩造 相樂郡役所 舊姓福井松田金松 京都滋野校 玉村源之助

何鹿綾部町本宮 本郷市太郎 宇治山階尋高校 粟津了做 小島三郎

第十回 明治二十年六月二十七日初等師範科 池內清太郎 舊姓比留田 伊藤三郎 細見喜作

岩原巖

第十一回 明治二十年七月十二日初等師範科 片岡熊藏

第一回 明治二十一年三月二十九日尋常師範學科 市新町二條上 柴田寅三郎 綿喜田邊町 西川長彥 在東京 猪間收三郎

死亡 土手長松 新潟高田師範校長 中村豐吉 死亡 廣田恒次郎

市七本松今小路下 田中俊太郎 神戸地方裁判所 岩本麻次郎 京都乾校 舊姓淺野 田中莊吉郎

小山彌三郎 天田郡視學 水上覺太郎 京都市第一商業 井上周之助

大阪市圖書館

岡嶋熊次郎 熊野

木下仙太郎

第二回 明治二十二年四月一日

神戶高女校長 篠原辰次郎 乙訓向陽尋校  
東京市立第一實科高女 大石誠一 京都商工補習夜學校

齋藤九三郎 兵庫柏原女學校長  
金澤三良助 東京女師範

近藤九一郎  
和田盛慈

在東京

渡邊仙太郎 京都成德校

侯野脩一 死亡  
狩野力太郎 葛野朱雀野村

柴田吉太郎  
川井寬次郎

紀伊深草尋高女校

川勝貞吉 死亡

小島英二 名古屋市下堀川町日置橋

赤塚恒太郎

第三回 明治二十三年四月二日

市段屋町下立賣上 平井英次郎 死亡  
府教育會教員養成所 湯淺末之助 死亡  
船井殿田尋高女校 內藤直次郎 死亡

中島友之助 奈良女高師  
川崎辰藏 市島津製作所

藤堂忠次郎  
廣庭金吉

死亡

安田元次郎 死亡

岸野常次郎 死亡  
荻野國藏 京都市第二商業

新谷石之助  
寺町相太郎

死亡

松田壽郎 何鹿綾部校舊名龜藏

丸岡壽茂 市大宮寺之内上三丁目

富田已之助

岩雙岩倉

藤木長太郎 何鹿佐賀

片岡鐵之助

富田已之助

第四回 明治二十四年四月一日

明石女師校長 井田竹治 死亡  
南桑高等女學校 市川潔丞 京都生祥校  
與謝宮津女子校 土屋金原辰三 大阪松島校  
加佐舞鶴尋高女校 清水康五郎 大阪北區福島  
臺灣新竹校 高木平太郎 市御幸町松原上

中村春太郎 京都尚德校  
岩內誠一 兵庫有馬中學  
中小路泰二郎 長崎中學

鹽田六作  
森勇三郎

南桑龜岡第一尋高女校

淺井榮二郎 大阪堺中學

小森延之助 乙訓大原野 舊名兼吉

大島直昌

大阪南大江校

小笹國雄 宇治山科

山本源之助 京都梅屋校 舊名米二郎

中谷正武

熊野川上

櫻井八郎 天田福知山町

桐村鏝吉

中谷正武

第五回 明治二十五年四月一日

京都市第二高小 田村作太郎 京都商業實習  
京都海運校 舊姓新宮 河合恒藏 京都葉田校  
死亡 秋保知次 廣島高師  
紀伊向日町鷄冠井 鎌田伊一 天田下六人部尋高女校 舊姓和泉  
京都畷有校 高屋利吉 加佐南有路尋高女校

福田正敏 天田惺明尋高女校  
岡本寅吉 大阪市岡中學  
內海靜 大阪西區榮校

中島錦三郎  
小牧弘之

大阪市岡中學

大橋純次郎

川崎正三郎 京都疏水慶流橋奧村 電氣商會

菅谷直哉

京都開智校

阿辻小鐵 京都菊濱校

大聖寺宗次郎 死亡

關綱吉

在米國

小木二郎 死亡

萩野辰之助 京都滋野校

岩淵重三

府第二中學

白井清司 死亡

奧村丑太郎 在大阪

松田安之助

市塔ノ段毘沙門町

淺田多門 府立堺中學校長

石原定孝 死亡

河村英太郎

市小川通今出川下

安藤利光 何鹿西八田尋高女校

永井正作 葛野嵯峨

佐々貴 鐵次郎

死亡

黑岡宗教

芳賀景介 愛媛師範 舊姓新宮伊太郎

森岡格

第六回 明治二十六年四月一日

東京市視學 法貴慶次郎  
三重山田中學 稻垣藤二 何鹿小畑農業補習校

井内西四郎 大阪市島津支店

北川義文

第七回 明治廿七年三月三十一日

東京市視學 法貴慶次郎  
三重山田中學 稻垣藤二 何鹿小畑農業補習校

井内西四郎 大阪市島津支店

北川義文

東京市視學

法貴慶次郎

芳賀景介

森岡格

三重山田中學

稻垣藤二

井内西四郎

北川義文

何鹿小畑農業補習校

井内西四郎

井内西四郎

北川義文

何鹿小畑農業補習校

井内西四郎

井内西四郎

北川義文

何鹿小畑農業補習校

井内西四郎

井内西四郎

北川義文

何鹿小畑農業補習校

井内西四郎

井内西四郎

北川義文

何鹿小畑農業補習校

井内西四郎

井内西四郎

北川義文

何鹿小畑農業補習校

井内西四郎

井内西四郎

北川義文

何鹿小畑農業補習校

井内西四郎

井内西四郎

北川義文

何鹿小畑農業補習校

井内西四郎

井内西四郎

北川義文

何鹿小畑農業補習校

井内西四郎

井内西四郎

北川義文

何鹿小畑農業補習校

井内西四郎

井内西四郎

北川義文

何鹿小畑農業補習校

井内西四郎

井内西四郎

北川義文

何鹿小畑農業補習校

井内西四郎

井内西四郎

北川義文

何鹿小畑農業補習校

井内西四郎

井内西四郎

北川義文

何鹿小畑農業補習校

井内西四郎

井内西四郎

北川義文

何鹿小畑農業補習校

井内西四郎

井内西四郎

北川義文

紀伊郡視學

入江熊吉 紀伊彰德高校 調子金之助 紀伊吉祥院校 磯部政雄  
市田春藏 天田大正井尋高校 蘆田安兵衛 京都桃蘭校 仙石恒吉  
大槻孝一 葛野第三高校 村田終吉

第八回 明治廿八年三月三十日

南桑田龜岡第二尋高校 桂 信治郎 與謝筒川農業補習校 大橋唯一 臺灣國語學校 田中友二郎  
京都第一高小校 舊姓今村 松原耕造 京都嘉樂校 白井誠吉 東京學習院 羽室蒼治  
京都柳池 河村秀雄 船井淇陽學舎 田中藤左右門 熊本第一師範 二股卓爾  
船井富本尋高校 川勝五郎三 臺灣國語學校 志保田銚吉 京都醒泉校 岡本清藏  
京都明倫校 森田吉松 京都嘉樂校 森馬太郎 片山喜十郎

第九回 明治廿九年三月三十一日

南桑履信高校舊姓川村 桂 丑之助 大阪天王寺師範 森村弘毅 死亡 近藤達二郎  
何鹿志賀尋高校 細見繼太郎 石川小松中學 吉岡吟藏 中郡視學 橫田秋次  
京都安井校 加池鯉之助 兵庫打出村字下河原 木村壽之助 相樂郡視學 吉岡誠一郎  
纒喜田原校 鈴木誠 神戸市雲中學 東政吉 市祇園下河原 辻節治  
京都竹岡校 吉村保 大阪住友鑄銅所 井上整藏 在東京 岸田國太郎  
宇治郡宇治校舊姓金子 湯 鹽勇吉 京都精華高女 井上敬道 加藤清  
久世富野校 舊姓足立 竹内政吉

第十回 明治三十年三月三十一日

大阪市東區役所 橫井虎之助 京都師範 森貞亮 天田惇明尋高校 今川仙之助  
沖繩師範 味田浩 京都立命館中學 奧田清 死亡 岸谷音吉

大阪今宮中學

何鹿郡視學 山本坦彦 船井新庄尋常高校 秋田數馬 京都第一高女 今大路復三  
宇治山階校 高畑角次郎 京都第一商業 福本由次郎 京都春日校 舊姓今中白井耕助  
京都淳風校 舊姓佐々木 高橋芳之助 東京北多摩代々木村 藤崎正太郎 久世大久保 金田圓太郎

京都安寧校 船井郡視學 西町良藏 京都音院 佐久間光盛 加佐餘部第二尋高校 土井禎吉  
船井郡視學 福島源太郎 葛野朱雀野尋校 中川傳次郎 加佐倉棉校 舊姓內藤竹内龜吉  
久世菟道尋高校 小林源之助 與謝郡役所 小牧時藏 大阪私立大倉商業校 木船金雄

小早川 乘次郎 大阪府堺高女 日置松藏 京都第二高小校 中西丞之助  
小西才次郎 京都稚松校 倉橋辰太郎 在大阪 安東俊夫

第十一回 明治三十一年三月三十一日

久世郡宇治町 舊姓花井 菱木岩四郎 京都東山中學 朽木綱男 大阪三軒屋男子校 和田左市郎  
南桑集成尋高校 蔣池季尾 大阪四區三軒屋女子校 河合喜三郎 葛野嵯峨校 町田廣之  
熊野久美尋高校 中川修一 竹野郡視學 井上菊之助 肥前北松浦調川 中江重幾  
死亡 青木彌三郎 相樂笠置尋高校 浦辻千吉 相樂稻田尋校 澤田丑松

東京本郷校 奧村義一 京都府視學 衣川定太郎 大阪老松町校 國友初衛  
朝鮮忠清南道保寧公立 光島市太郎 東京東洋生命保險社 柴田愛藏 大阪商船會社支店 森保丸  
普通學校 第十二回 明治三十二年三月三十一日

京都商業實修校 舊姓西田 高橋正躬 何鹿以久田村 長岡健太郎 京都彌榮校 大島正太郎  
東京麴町上四番町九 上田正太郎 京都春日校 小笠原正武 加佐由良尋高校 黑田源立  
加佐高野尋高校 神谷重遠 京都修道校 眞下瀧吉 死亡 川中久太郎  
死亡 藤井義亞 死亡 田淵初太郎 加佐八田尋高校 塩尻勇一郎

北桑博習尋高校

多富倉之助 死亡

鹽田春太郎

第十三回 明治三十三年三月三十一日

廣島青品

飯田雄三 死亡

橋本時藏

宇治山階

粟津榮造 兵庫武庫郡精道

奧村泰

何鹿口上林校

渡邊幸作 京都植柳校

木戸達次郎

京都日彰校

滿田豐弘 紀伊陶化尋高校

津田三郎

東京赤坂青山北町六ノ六〇

芝原豐三 何鹿山家校

大島傳次郎

島根松江商業

廣瀬又一 死亡 舊姓榎本

水谷角藏

第十四回 明治三十四年三月三十一日

死亡

服部英磨 京都第二高小

花形敏雄

死亡

内田勇作 京都都文校舊姓濱口

淺田與三郎

天田細見尋高校

大槻信之助 死亡

藤井治重

京都龍池校

福島八三郎 相樂木津尋高校

片山義直

南桑田立生尋高校

谷口幸太郎 京都教業校舊姓朝田

黒川員四郎

加佐新舞鶴第一尋高校

坂根正美 死亡

中川頼三郎

京都嘉樂校

中川轍夫 京都第二高小校

木村芳藏

山口縣大津郡立農林校

梶村金太郎

和田伊之助

東京牛込山吹校

第十五回 明治三十五年三月三十一日

京都龍池校舊姓早藤

永井捨吉

死亡

川崎益次郎 京都都文校

林格之助

南桑曾我部尋高校

二階堂光尙 死亡

谷口與太郎

大坂天王寺中學

竹井喜一郎 興謝加悅

道家勉

死亡

岡山淺次郎 滿洲橋頭小校

中野吾一

紀伊伏見第一尋校

中野沱四郎 天田惺明尋高校

大西藤右衛門

船井修齊校

小川直一 滋賀大津高女

南部慎太郎

死亡

並川一 兵庫豊岡中町

中西淺之助

京都浮風校

畑春藏 綴喜大住尋高校

嶋田賢次郎

何鹿佐賀校

四方順三郎 天田惺明尋高校

藤原益太郎

京都西陣校

小林幹 京都第二錦林校

樋口安次郎

何鹿吉美校

平井松之助 京都室町校

城戸善一郎

第十六回 明治三十六年四月二日

相樂中和東校

稻本佳一郎 京都師範

茨木一

市土手町丸太町下

石田義一 相樂木津尋高校

今井清

京都生祥校

長谷川益二

遠山峻

北桑鶴夕岡尋高校

大岡義次 京都本能校

林與三郎

天田上六人部校

岡村峯太郎 興謝伊根尋高校

小笠原哲夫

竹野溝谷尋高校

西井半治 京都銅駝校舊姓西川

村上勇次郎

愛宕上賀茂尋高校

奧村秀吉 死亡

大西庄太郎

堀明太郎

大坂天王寺第五小學

岡篤郎

船井園部尋高校

西垣繁太郎

葛野大内校

小野廣市

南桑成基校舊姓西村

佐々木末三郎

死亡  
 京都醒泉校 舊姓渡邊 細川 政治 京都皆山校 大志萬 誠夫 山口德基高女校 德岡 億次郎  
 久世郡久我村 山口 銀吉 天田修齊校 河田 樺太郎 加佐舞鶴尋高校 宇野 九一郎  
 加佐新舞鶴第二尋高校 芳山 龜吉 船井竹野尋校 野田 幸次郎 死亡 紀伊堀內尋高校 田中 芳男  
 大阪朝日新聞社 野村 喜之助 東京本所原麻署長 竹上 六三郎 紀伊堀內尋高校 草野 嘉市  
 船井檜山校 谷 辰次郎 竹野鳴瀧尋高校 山 腰 安治 大阪天王寺中學 長井 彌太郎  
 久世寺田校 舊姓中坊 福森 民治郎 京都豐園校 中井 惣兵衛 船井吉富尋高校 松本 伊太郎  
 死亡 松本 直三郎 京都帝國大學講師 村上 武次郎 北桑造基尋高校 中山 伊之三郎  
 兵庫縣西宮第三小學校 浦野 駿三 相樂精華校 藤原 官次郎 何鹿東八田尋高校 遠藤 和吉郎  
 死亡 北仲 爲藏 京都初音校舊姓芦田 衣川 幸次郎 船井八木尋校 遠藤 和吉郎  
 京都修德校 北桑細川尋高校 市四條小橋西詰 柴田 治夫 東京帝國大學々生 有堀 市三郎  
 宇治郡視學 坂根 廣身 乙訓砂作尋校 齋藤 清一 京都葉田校 四方 平治郎  
 熊本第一師範 鈴木 博也 富山、高岡中學校 森 邊 相樂加茂尋高校 佐倉 康人  
 南桑龜岡第一尋高校 木村 繁太郎 舊姓栢村 足立 勝之助 續喜田邊校 杉本 萬次郎  
 第十七回 明治三十七年四月二日  
 京都竹間校 糸井 六衛 南桑龜岡第二尋高校 石田 牧之助 京都安寧校 石原 定正  
 奈良女高師 舊姓大森 柴山 健三 南桑致遠尋高校 池上 忠三郎 寺淵滋野校 大石 信三郎  
 死亡 稻田 源左衛門 天田博文校舊姓東吉 小瀧 義雄 天田雀部尋高校 舊姓出野 高橋 敬三郎  
 加佐朝來尋高校 金田 萬之助 山口縣師範舊名德藏 林田 政德 加佐餘部第一尋高校 龜井 新太郎

京都稚松校 秦 賢三 乙訓向陽校 片山 圭三 天田菟原尋高校 舊姓上佐 松丸 熊吉  
 北桑平屋尋高校 橫田 直一郎 紀伊深草尋高校 加藤 四郎 紀伊深草校 吉岡 重行  
 京都京極校 大槻 牧之助 京都乾校 舊姓龍村 田中 憲雄 紀伊伏見第三尋校 舊姓尾崎 大久保 孝三  
 京都彌榮校 竹村 豐三郎 竹野上宇川校 舊姓小倉 松井 芳之助 京都市翔鸞尋校 谷脇 長次郎  
 何鹿奧上林尋高校 田中 治喜 紀伊伏見第一尋校 山本 辰造 竹野間人尋高校 田中 重雄  
 相樂東和東尋高校 山中 久間 京都師範 中 澤 競 鳥取師範 安川 數太郎  
 死亡 中辻 久吉 朝鮮京畿道江華公立 山下 傳三郎 京都出水校 長瀬 次敏  
 竹野木津尋高校 安田 松兵衛 京都烏丸押小路 舊姓村上 山口 時之助 京都帝國大學々生 藤井 鶴松  
 京都第二高小校 小森 泰吉 北桑養源尋校 久保 秋太郎 在朝鮮 後宮 廣造  
 死亡 倉橋 靜十郎 船井西本梅尋高校 荒井 左馬吉 京都成德校 山本 祿太郎  
 加佐蠶業學校 芦田 瀧藏 京都商業實修校 在 田 淳如 天田川合尋高校 水谷 源藏  
 奈良女子高等師範附屬 荒木 柳太郎 京都桃崗校 志賀 又市 在大阪 舊姓新 中島 音吉  
 何鹿中上林尋高校 櫻井 惠一 葛野朱雀野第三校 安達 貞次 死亡 關見 間三郎  
 死亡 廣野 珪助 臺灣總督府中學 清水 久次郎 京都 木村 芳右衛門  
 北桑博習尋高校 舊姓水口 與本 乙吉 葛野朱雀野尋常校 錢谷 松三郎 若松市 關根 靜一  
 第十八回 明治三十八年三月三十一日  
 京都府師範舊姓岩井 伊藤 民藏 船井園部尋高校 舊姓原澤 辻 田 與三 北桑島校 舊姓早川 山内 增次郎  
 京都竹間校 西山 幸藏 紀伊上島尋高校 堀 島 要助 久世菟道校舊姓高谷 中村 雄次

京都城巽校	堀江宮吉	石川縣立農學校	高谷三郎	船井園部尋高校	德田靜一
何鹿中上林校	中島敬造	在朝鮮	德田信吉	京都永松校	中村直次郎
京都九條校	小幡聖義	死亡	中村辰次	死亡	川面茂右衛門
何鹿佐賀尋高校	中野平一	乙訓上川校	金谷勝太郎	死亡	長尾理一
死亡	川合良久	天田下夜久野尋高校	村田鹿治	死亡	吉岡廣藏
船井摩氣尋高校	村上郁三郎	中延利尋高校	吉岡藤治郎	京都出水校	上田房次郎
南桑本梅尋高校	谷儀三郎	竹野三津尋常校	野村善夫	何鹿以久田村	大槻誠一
死亡	小林源三郎	舊姓大西	羽田喜宗次	乙訓神足校舊名鼎三	小林莊
死亡	大塚常三郎	天田天津尋高校	芦田喜一郎	續喜都々城尋高校	巽善十郎
死亡	足立久治	紀伊伏見第一尋校	久連松良雄	天田中夜久野尋高校	芦田久治
船井桐ノ庄尋高校	八木只一	東京高師專攻科生	芦田五郎	南桑有秋尋高校	竹岡彦市
宇治宇治校	芦田重太郎	死亡	丸岡光藏	在朝鮮	麻田治良一
京都修道校	牧誠太郎	東京麴町富士見町五十五字佐見方	佐藏亨貞	京都待賢校	間島清吉
愛宕白川校	伊佐彌一郎	廣嶋女子師範	松本健之助	續喜田邊尋校	北川条次郎
船井修齊校	木戸強平	京都第二高小校	塩見傳之進	在朝鮮	北川清之助
京都梅屋校	芝時信	死亡	湯淺祥一郎	天田上川口尋高校	水上精一郎
死亡	弓削政右衛門	死亡	菅原玄龍	續喜三山木尋高校	森村安次郎
兵庫多紀郡	舊姓月川	死亡	西山孫六	舊姓柴田	泉清藏
相樂山田莊第一尋校	第十九回	明治三十九年三月三十一日			
舊姓池田	辻久吉	天田細見尋高校			

續喜八幡尋高校	西川泰三	相樂湯船尋校	池田喜市郎	葛野京極校(休)	星野環治
葛野太秦尋高校	伊地知綱吉	京都銅駝校	和田治三郎	在東京	濱崎峻
京都翔鸞校	梶秀吉	在メキシコ舊姓松山	川島孝治	京都宮右校舊姓中川	與村與三郎
京都桃園校	上手市太郎	船井四ツ谷尋校	一谷孝四郎	在朝鮮	駒野清
葛野嵯峨尋高校	中村猶治郎	久世明親尋高校	田中政太郎	南桑田彰尋高校	上島成一
南桑宮前校	大石右一	第八高等學校	宇古則一	船井嶺山尋高校	田中慶次郎
大阪	白井顯一	在朝鮮	田中丁藏	京都新道校舊姓野口	西村重晴
加佐漆原尋高校	高橋伊右衛門	熊野海部尋校	能勢武兵衛	南桑曾我部尋高校	畑久良吉
京都日彰校	大槻銀太郎	京都格致校	竹上孝太郎	京都乾校	落合三四吉
天田中夜久野尋高校	中川五一郎	加佐舞鶴吉原	塩見泰治	南桑田龜岡第二尋高	八木直一
京都出水校	三宅駒吉	舊姓倉橋	安井重直	久世小倉校舊姓齋藤	小森美治
相樂中和束尋高校	前出金吾	京都春日校	北村市太郎	乙訓郡乙訓高校	藤井末吉
南桑龜岡第一尋高校	湯淺文次	京都乾校	四方爲之助	船井殿田尋高校	湯淺政次郎
南桑同寅尋高校	藤原常五郎	與謝栗田校	古牧俊治	死亡	藤木房次郎
在東京	志馬澤治郎	天田上川口尋高校	塩尻信	京都梅運校	清水竹次郎
加佐新舞鶴第一尋高校	安念正三	京都京極校	塩見正太郎	奈良師範	笹川新太郎
中河邊校	島津菊治郎	加佐舞鶴尋高校	文球蕃三郎	葛野朱雀野第二尋校(休)	晝場英夫
京都聚樂校	平井仙吉	京都修道校	飯田高節	京都格致校	森脇景敬
京都尚德校	第二十回	明治四十年三月三十一日			
舊姓岩鍋九八	太田忠雄	京都師範			
		舊姓西山喜藏			

與謝桑飼尋高校	堀謙治郎	京都格致校	石野房次郎	南桑曾我部尋高校	法貴百太郎
京都府師範	池野藤太郎	廣鳴師範	岡山徳三郎	宇治勤修尋高校	林清次郎
何鹿以久田校	大槻良生	船井川邊尋校	波多野泰次郎		岡定吉
船井郡下和知校	早川美三郎	久世久津川尋高校	太田清一	船井竹野尋校	小西貞次郎
朝鮮京城中學校	岡崎眞一郎	京都柳池校	岡島三郎	南桑千歲尋高校	川勝正太郎
京都西陣校	岡村豊作	續喜大住校	中村淳	京都立誠校	若宮正一
京都西陣校	中野千萬藏	相樂中和東尋高校	和田滿治	南桑集成尋高校	寺町八十二
宇治醍醐 舊姓宇佐美	河合浪造	埼玉熊谷高女	村上秀一	舊姓並河	川高重太郎
京都第二高小校	内海幸太郎	舊姓金谷	小泉榮三郎	京都錦林校	野田徹郎
與謝伊根校	森下安藏	京城公立高女	小笹治郎吉	熊野湊尋校	田中七之助
南桑樂祥尋高校	楠田英二郎	紀伊吉祥院尋高校	竹谷光運	茨城水戸女學校	山鳥藤治郎
沖繩新報社	荒木二郎	南桑成基校	山田廣太郎	與謝日ヶ谷	山内倉之助
京都師範	安原長吉	何鹿綾部尋高校	坂根治三郎	京都新洞校	天野貞夫
綴喜青谷尋高校	眞田省三	相樂精華校	松田茂	相樂木津尋高校	松下幸雄
京都錦林校	福井鹿次郎	京都牛祥校舊姓木村	山縣不嶽治	加佐新舞鶴第一尋高	笹西治太郎
島根師範	三上貫一	南桑龜岡第二尋高校	寺本義一	久世大久保尋高校	福島隆雄
京都室町校	寺岡一男	熊野川上尋校	水田實	船井新庄尋高校	水田正雄
何鹿志賀尋高校	塩見孝造	船井富本尋高校	淺田龍吉	舊姓淺田	田中數馬
奈良畝傍中學舊姓平田	香山益彦	市本能校	山田安治郎	南桑致遠尋高校	人見顯一
				中峯山尋高校	伊佐清藏

第二十一回 明治四十一年三月三十一日

京都富有校	白山熊太郎	相樂相樂尋校	森口寅太郎	何鹿東八田尋高校	出口光三
死亡	須磨茂治郎			舊姓福田	
京都修徳校	石垣重造	船井摩氣尋高校	西田多四郎	死亡	池田隆一
北桑博習尋高校	西豊二郎	南桑安祥尋高校	岩鼻貞亨	京都室町校	細田秀三
熊野神野尋校	岩崎長三郎	天田博文尋校舊姓堀	福田龜之助	京都第一高校	林景介
紀伊伏見町 舊姓田中	都木藤太郎	南桑樂祥尋高校	西田榮三郎	京都龍池校	外川信一
紀伊柳原尋高校	徳田九一	大阪	蔭山愿吾	死亡	大槻眞太郎
相樂上狛尋高校	小山源一	北桑知井尋高校	岡田宗三郎	京都安寧校	竹内文次郎
死亡	奥田清治郎	京都立誠校	竹内裕彦	乙訓向陽尋校	天井良雄
京都師範	中西與三吉	綴喜多賀尋高校	岡本信正	船井淇陽學舎	長瀬武
加佐余部第一尋高校	和田佐太郎	京都高師在學	中川金之助	何鹿中上林舊姓渡邊	梅原三吾
北桑知井尋高校	並河榮治郎	京都龍池校	若林郁文	東京高師在學	梅田常治
在東京	笠原助次郎	京都嘉樂校	武藤茂吉	鹿兒嶋女子師範	河島英夫
竹野島取尋高校	上野磯治郎	乙訓高小校	上田愼三郎	何鹿物部	青野浩
京都第二高小校	矢野佳年春	舊姓安達	太田宗輔	退職	山路吉兵衛
舊姓松浪	安達光衛	京都第二錦林	松村豊吉	秋田縣中學校	岸田久吉
天田雀部尋高校	江田幸三郎	與謝加悅尋高校	水野聯成	京都第一高小校	松村巳之助
京都女子師範	塩見龜藏	何鹿志賀尋高校	坂井富治郎	五ヶ村立農學校	久岡龍太郎
	駒田末次郎	京都柳池尋校	池田榮三郎	舊姓平井	赤松新作

南桑宮前尋高校

森 宗太郎

第二十二回 明治四十二年三月三十一日第一部

京都中立校	岩田幸三郎	京都女子師範	板原新一郎	加佐志樂校舊姓猪野	木村重次
京都梅運校	早川喜代須	南桑本梅尋高校	今西權治郎	相樂西和東尋高校	西山利市
京都師範 舊姓今西	有本長太郎	船井修齊尋高校	西田信治	久世寺田校尋高校	今村義一
船井明俊尋高校	細見清一郎	加佐神崎尋高校	井上亮	京都城巽校	堀内倉之助
船井富本尋高校	今西俊一	船井吉富尋高校	堀江直治	京都師範	入江新吉
紀伊彰德高校	德島榮治郎	紀伊伏見第一尋校	伊藤義一	北桑博習尋高校	都木藤一
在朝鮮	稻荷誠平	何鹿以久山尋高校	荻野健二郎	何鹿綾部尋高校	稻野松太郎
加佐新舞鶴第二尋高校	大月勇吉	宇治宇治尋高校	村上德治郎	京都西陣校	大平二郎
與謝筒川尋校	岡田長兵衛	船井桐ノ庄尋高校 舊姓石井 舊姓中島	北原元七	京都女子師範	小笠原要藏
何鹿佐賀尋高校	内藤瀧藏	京都梅屋校	大橋五郎	葛野大内尋校	丹羽貞治郎
京都竹間校	和田秀助	續喜弘道高校	村田太平	京都女子師範 舊姓中村	堅田成法
加佐志樂尋高校	村田安藏	南桑種美尋高校	加賀山大信	京都室町校	山本治三郎
何鹿西八田尋高校	谷口歌吉	死亡	籾内榮吉	與謝加悅尋高校	竹原鶴吉
京都安井校	八木勇藏	加佐原尋高校	帶刀鶴藏	京都九條校	眞玉傳藏
久世菟道尋高校	田中國彦	船井檜山校	小森直之丞	葛野西院校	綱吉三郎
京都銅駝校	小早川彦一	加佐倉梯尋高校	寺町彦太郎	何鹿綾部尋高校	摺見久吉
天田下六人部尋高校	出口健太郎	何鹿口上林尋高校	四方峰三郎	加佐明俊校	佐古田誠太郎
何鹿吉美尋高校 舊姓四方	摺見源太郎	京都修道校	佐藤一八	竹野中濱尋高校	森本新次郎

續喜八幡尋高校	佐野敬藏	相樂恭仁尋高校	毛利猶治郎	京都教業校	佐藤越夫
加佐新舞鶴第一尋高校	百田孝重		高橋重夫	愛知第二師範	森田新三
相樂笠置尋高校	菊山佐市郎	南桑田河原林高校	隅田光太郎	京都教業高校	湯淺義雄
京都春日校	吉岡清治郎	加佐新舞鶴第一校	宮下安三	加佐中筋尋高校	檜昌夫
京都城巽校	篠原正道				

第二十三回 明治四十三年三月三十一日第一部

與謝日吉尋高校 舊姓岩根	德田喜六	北桑有斐尋高校	川面近三	京都梅屋校	生咲三郎
京都永松校	奥村耕治郎	京都西陣校	井關尊二	南桑宮前尋高校	岡本一平
久世明親尋高校	井村光三	葛野西院尋高校	岡本清一	葛野朱雀野尋校	一木敏之
續喜田原尋高校	奥谷愿正	相樂富尾尋高校	稻葉長一	北桑平屋尋高校	大東五一郎
京都修道校	磯部宇之助	相樂高山第一尋高校	垣内兼治郎	與謝山田尋高校	井田元治
加佐字關	上總泰治	久世富野尋高校	籾内一夫	南桑同寅尋高校	川勝優
熊野久美尋高校	西畑定治	加佐舞鶴尋高校	川瀨敬一郎	久世御牧高校	細谷純三
乙訓高小校	鎌田貞三	何鹿小畑尋高校	岡村重太郎	京都彌樂校	加藤七郎
京都滋野校	吉井賢治郎	續喜善賢寺尋高校	中川喜一	東京高等師範在學	吉田寅雄
相樂加茂尋高校	中島政綱	京都室町	種子田德	何鹿奧上林尋校	馬田繁三郎
加佐余部第二尋高校 休職	谷口昇	葛野松尾尋高校	植松孝俊	船井須知尋高校	谷清一郎
京都乾校	上垣梅藏	宇治郡宇治尋高	田邊元雄	加佐中山尋校	上野嘉十郎
與謝宮津女子尋高校	竹井長四郎	相樂木津尋高校	野呂源右衛門	南桑河原林尋校	竹内敬
	吳谷善三郎	京都乾校	竹中國二郎	竹野間人尋高校	前田清太郎



天田七川口尋高校	中西重信	京都竹岡校	八幡郁之助	南桑立基尋高校	並河夏雄
與謝本庄尋高校	山川治	宇治山階尋高校	山本常三郎	京都格致校	荒木末吉
峯山尋高校	松梨増治	何鹿以久田尋高校	赤見坂正太郎	船井桐ノ庄尋高校	松木幹治
船井檜山尋高校	坂原多一	京都錦林校	牧民次郎	宇治宇治尋高校	澤井堯夫
相樂精華校	福味定一	紀伊吉祥院尋高校	木ノ山良吉	相樂郡立農學校	風呂本武治
鹿兒島女子師範	岸田與一	乙訓神足尋高校	藤井吟之助	死亡 舊姓由利	加藤啓三
京都成逸尋校	福田信	葛野七條尋校	三好一	船井園部尋高校	小林眞太郎
何鹿綾部町	志賢勘之助	緩喜田邊尋高校	寺本貞治郎	南桑致遠尋高校	森眞太郎
京都格致校	森本庭次郎	加佐明俊尋高校	文字信太郎		

第二十四回 明治四十四年三月三十一日第一部

京都聚樂校	池田修一	相樂恭仁尋高校	林吉太郎	船井園部校	井尻清吉
加佐余部第一尋高校	西村房次郎	葛野太秦尋高校	西澤嘉一郎	竹野吉野尋高校	神村孝
加佐由良尋高校	岡田重一	京都安井校	加藤弘三	加佐東尋高校	岡垣喜代藏
船井四ツ谷尋校	竹井源之助	愛宕明德尋校	奥田忠太郎	竹野清谷尋高校	棚田齋治
京都師範	岡本薫一	乙訓石作林尋校	高井嘉一	京都第二錦林校	奥村治三郎
船井富木尋高校	宅間勝一	南桑安祥尋高校	奥村庄太郎	竹野德光尋校	田邊義雄
京都西陣校	金澤光誠	葛野川岡尋高校	高瀬清次郎	與謝世屋下尋高校	香川義憲
久世久津川高校	角田嘉一郎	京都出水校	河村太吉	加佐余部第二尋高校	仲覺治郎
北桑久時尋校	河村麻次郎	船井實美尋校	中尾定一	南桑履信尋高校	中島元晴
北桑周山尋高校	矢谷城太郎	大阪 舊姓中富	辻良造	葛野朱雀野尋校	山田良之助

水津尋高校	永田平三	宇治豊園校	藪常三郎	北桑協一尋高校	村山格太郎
天田惇明尋高校	藪内博	與謝明道尋校	内保孝徳	相樂相樂尋校	藤原留次郎
宇治郡醍醐尋高校	植村久道	乙訓神川尋校	淵田家尙	南桑安祥尋高校	宇野貞二
京都仁和校	藤山宇太郎	京都師範	野々村官次	京都第二錦林校	小島重一
天田郡濟美校	野間兼太郎	京都格致校	小林元吉	中延利尋高校	久保泰治
船井篠原尋高校	出野長九郎	緩喜多賀尋校	藪田治三郎	南桑龜山第一尋高校	上村數馬
京都成徳校	澤田稔	府立女子師範	廣瀬小次郎	加佐朝米尋高校	佐々木秀一
船井八木尋校	廣瀬秀三郎	紀伊彰徳高校	北川重次郎	京都師範	廣濱嘉雄
紀伊竹田尋高校	三木春吉	天田大正尋校	須藤健吾	何鹿山家尋高校	四方清次郎
緩喜田原尋高校	鈴木瀧藏	何鹿綾部尋高校	澁谷泰市郎	京都京極校	諏訪信太郎
加佐余内校	四方隣十郎	京都桃園	上月清		

第二十五回 明治四十五年三月三十一日第一部

乙訓乙訓高校	岩城宇三郎	京都正親校	茨木治兵衛	緩喜田邊尋高校	西村保造
京都第二錦林校	瀧川薫	天田菟原尋高校	岡村源太郎	中吉原尋校	田中佐一郎
久世富野尋高校	奥倍次郎	中丹波尋高校	谷村正治	與謝市場組合尋高校	大上梅太郎
愛宕上賀茂尋高校	辻庄平	竹野綱野尋高校	大垣勝藏	與謝尋高校	長澤重太郎
緩喜有智郷尋高校	金森松太郎	加佐池内尋高校	中西太一郎	加佐吉原尋校	神原善之助
葛野嵯峨尋校	中村季治郎	京都豊園校	片山樹村麿	在廣島高師	仲川彌作
熊野久美尋高校	川口愛助	京都中立校	並河秀逸	相樂狛田尋校	武田泰藏
與謝宮津男子尋高校	梅木理	中三重尋高校	谷口只一	天田齋美尋高校	内田卯太男

久世小倉尋高校	牛田常太郎	天田糖華尋高校	福井和吉	加佐岡田下尋高校	梅原豐吉
京都桃園校	富士野 敬太郎	乙訓石作尋校	能勢善造	京都成德校	藤原景之輔
南桑集成尋高校	野々村 輝一	紀伊彰德高小校	福島賢吉	愛宕上賀茂尋校	栗山重
宇治勤修尋高校	小川 周治	南桑彰常尋高校	栗山周一	綴喜草內尋高校	出島利一
紀伊伏見第三尋校	山本啓太郎	加佐河守尋高校	新井實衛	京都仁和校	山口淳
與謝石川尋高校	土井 寬治	綴喜都々城尋高校	山村義治	綴喜宇治田原尋高校	淺田義雄
天田中夜久野校	牧 誠一郎	船井富本尋高校	淺田信夫	船井三宮尋高校	的場正三
紀伊向鳴尋高校	明田 惣一	天田修齊尋高校	芦田數夫	北桑細川尋高校	水木順一
北桑平屋尋高校	麻田 源一	何鹿中上林尋高校	鹽見作衛	南桑宮前尋高校	酒井直茂
相樂綺田尋高校	東村 武一	加佐新舞鶴第一尋高	櫻 井 進	在東京高師	增田貞吉
熊野海部尋校	岸 好 郎	加佐中筋尋高校	森下八三雄	天田惇明尋高校	吉良貞雄
京都西陣校	關 根 泰吉	在東京高師	木枝 增一	京都新洞校	須田勝一
乙訓長法寺尋校	湯淺兵之助	中誠和尋校	今村朋介		
死亡	第二十六回 大正二年三月三十一日第一部				
京都師範	泉 嘉十郎	愛宕白河尋高校	渡 邊 博	京都府師範校	糸井淺治郎
加佐大丹生尋高校	若 林 岩 秀	與謝宮津女子尋校	井 上 稔	竹野島溝尋高校	堅 田 德 母
京都春日校	石 井 佐 一	竹野網野尋高校	河田秀太郎	中五箇尋高校	畑 玉 吉
天田金山尋高校	片 山 俊 一	何鹿佐賀尋高校	西山久道	與謝宮津男子尋校	金子萬作
女子師範	川 端 孝 一	加佐岡田下尋高校	川村左一	紀伊橫大路尋高校	大石市次
			大田辰藏	熊野久美尋校	竹林爲助

相樂東和東尋高校	奧 武 雄	中三重尋高校	田 崎 宗 吉	與謝加悅高校	瀧本仙吉
加佐河東尋高校	並河平太郎	加佐明倫尋高校	帶 刀 善 助	北桑田板橋尋高校	村 田 常 藏
何鹿東八田尋高校	高 雄 泰 治 郎	紀伊上島羽尋高校	村上矢一郎	加佐舞鶴尋高校	竹 內 隆
加佐北有路尋高校	白 井 與 四 郎	萬野桂尋高校	高橋卯之助	相樂加茂尋高校	上 田 龍 雄
北桑大野尋高校	谷 益 太 郎	南桑曾我部尋高校	野 木 清 一	與謝上宮津尋校	高 橋 義 作
久世大久保尋高校	山 脇 忠 雄	竹野深田尋高校	中村美太郎	加佐新舞鶴第二尋校	山 崎 久 藏
久世菟道高校	中 森 安 太 郎	船井竹野尋高校	松 本 繁	東京帝國大學	中 西 一 郎
天田下夜久野尋高校	前 崎 顯 藏	南桑榮群尋高校	永田四郎太	與謝伊根尋高校	前 野 重 吉
何鹿西八田尋高校	松 本 正 男	南桑彰常尋高校	淺 田 左 市	東京音樂學校	松 川 喬 一
久世佐古尋高校	足 立 甚 左 衛 門	綴喜都々城尋高校	松 田 直 造	京都滋野校	有 田 辰 三
北桑鶴夕岡尋高校	福 井 道 雄	竹野中濱尋高校	澤田熊太郎	中大野尋高校	藤 村 米 次
加佐共立尋高校	齋 藤 英 太 郎	北桑吉富尋高校	藤 本 章 三	紀伊深草尋校	木 村 利 三 郎
與謝弘道尋高校	藤 田 庄 兵 衛	京都安寧校	北 川 丈 男	久世明親尋高校	小 山 丑 松
久世寺田尋高校	北 尾 敬 治	綴喜八幡尋高校	小 山 八 太 郎	相樂當尾尋高校	北 本 安 雄
船井下和知尋高校	出 野 傳 治	加佐由良尋高校	衣 川 廣 一	與謝桑飼尋高校	芦 田 淳 之 助
熊野湊尋高校	衣 川 武	萬野梅津尋高校	三 木 寅 吉	與謝筒川尋高校	四 方 孫 作
船井佐々江尋高校	下 村 庄 二	相樂綺田尋高校	島 清 治	宇治山階尋高校	榎 井 保
加佐八田尋高校	森 下 巖	南桑千歲尋高校	人 見 弘	加佐餘部第二尋校	瀨 野 辰 藏
北桑博習尋高校	菅 井 善 吉	京都堀鶴校	樺 井 奎 三 郎		

第二十七回 大正三年三月三十一日第一部

紀伊伏見第三尋校	池峯政太郎	京都西陣校	市川教一	綴喜宇治山原尋高校	乾源一郎
東京高師在學	岩本朝次	京都竹間校	石田秀太郎	竹野木津尋高校	池邊爲治
京都聚樂校	伊吹昌三	與謝阿蘇尋高校	早石周藏	南桑曾我部尋高校	畑亮一
船井三ノ宮尋高校	西野肇	加佐河東尋高校	新治正太郎	船井南大谷尋高校	西田保
加佐明倫尋高校	堀江道藏	與謝日置尋校	北條虎雄		本郷基繼
久世菟道尋高校	堀井益太郎	京都初音校	大垣勝太郎	北桑造基尋高校	大前徳次郎
加佐餘内尋高校	上羽儀平	葛野平野尋高校	河本千代八	久世楨島尋高校	加藤榮太郎
與謝宮津男子尋高校	吉田和夫	綴喜有智尋高校	吉中常道	宇治宇治尋高校	竹中清三
京都本能校	田中淳一郎	加佐平尋高校	宅間敬太郎	天田惇明尋高校	谷垣馬一
東京美術學校在學	長澤喜久治	船井明俊尋高校	室田義太郎	何鹿山家尋高校	上原與右衛門
中郡周根尋高校	野井音松	熊野上佐濃尋高校	熊勢與之助	與謝宮津女子尋高校	倉橋喜市郎
南桑立生尋高校	八木常次郎	南桑集成尋高校	山内平一郎	東京高師在學	山村保三
相樂木津尋高校	山口種利	加佐岡田下校	八木玉治郎	相樂稻田高校	前田彦太郎
竹野島溝尋高校	松見昇	京都龍池校	前田修一郎	加佐西尋校	小寺和三郎
北桑島尋高校	後藤鐵之助	北桑協一尋高校	小林源太郎	竹野八木尋高校	藤田慶次郎
紀伊陶化尋高校	穴田源之助	天田上豊當尋高校	蘆田松太郎	乙訓向陽尋校	朝田正一郎
中峯山尋高校	淺井浩	中峯山尋高校	安達致一郎	京都醒泉校	秋吉宗鎮
加佐共立尋高校	阪本宇太郎	與謝伊根尋高校	坂井桂藏	愛宕鞍馬尋高校	齋藤四郎
久世富野尋高校	木南董	天田精華尋高校	吉良當雄	天田遷喬尋高校	吉良佐太郎
	北村延三	天田中夜久野尋高校	衣川一雄	何鹿小畑尋校	北原一郎

第一回 明治四十二年三月三十一日第二部

紀伊吉祥院尋高校	北田俊一	南桑成基尋高校	湯淺英夫	愛宕田中尋高校	芝原廣太郎
何鹿奧上林尋高校	滋野順一	葛野大内尋高校	志賀廣吉	葛野七條尋校	四方久之助
船井須知	廣瀨治一	南桑致遠尋高校	水置茂太	葛野嵯峨尋高校	稗田宇一
加佐公庄尋高校	森鹿次郎	愛宕雲々畑尋高校	森口正雄	綴喜田原尋高校	森田常次郎
京都乾隆校	入江信太郎	京都彌栄校大阪出張	龜島清	加佐南有路尋高校	井上仁作
加佐原校	横山貫男	與謝弘道尋高校	市田祐治	天田細見尋高校	田中小一郎
加佐舞鶴尋高校	岩仲義人	乙訓乙訓高小校	津田精	竹野島溝尋高校	糸井關三
京都中立校	築山幸太郎	京都竹間校	半田幸一朗	紀伊陶化尋高校	仲寛
京都修道校	大村通信		村上彦市	愛宕大原校	岡本徳次郎
久世富野尋高校	浮村浩	南桑龜岡第一尋高校	小野友三	京都都文校	黒田茂
天田川合尋高校	赤穂五作	南桑安祥尋高校	桑原信太郎	京都醒泉校	佐々木義三
葛野朱雀野第二尋校	山内於兔太郎	葛野朱雀野尋校	山口雅一	京都醒泉校	佐々木利正
加江余部第二尋高校	木下與三雄	相樂上狛尋高校	澤田長治郎	天田公誠尋高校	松田正作
相樂大河原尋校	小西新四郎		藤本幸太郎	中丹波尋高校	由利松治
紀伊伏見第二尋校	美棲賢誠	京都室町校	宮本甚吉	京都柳池校	芦田敬太郎
京都醒泉校	杉本喜美		赤阪助次郎	船井吉富尋高校	廣野良賢

第二回 明治四十三年三月三十一日第二部

石原提惠 京都翔鸞校 與村郁太郎 與謝弘道尋高校 今田元之助

愛宕下鴨尋校 岡本保晃 京都尚德校 伊佐治俊左衛門 中丹波尋高校 岡田登  
 大坂南區惠美校 舊姓早田 小島 瀨 紀伊上島羽尋高校 大橋基夫 京都室町校 橋垣貞治郎  
 竹野八木尋高校 加藤吉藏 京都淳風校(休) 原見生 天田淳明尋高校 梶村宇作  
 竹野綱野尋高校 花光雄作 京都修德校 田中忠七 相樂木津尋高校 西尾久吉  
 與謝宮津男子尋高校 土屋元次郎 竹野深田尋高校 堀江重安 加佐新舞鶴第二尋高 永田八藏  
 天田公誠尋高校 本莊 粹 何鹿中筋尋高校 永井 禎 吉 愛宕格知尋高校 中大路季長  
 加佐第一校 笹脇 琢 昌 相樂木津尋高校 山縣 昌 壽 久世久津川尋高校 北尾光藏  
 北桑吉富尋校舊姓山田 辻 泰 一 天田大正尋高校 公手喜代史 京都錦林校 小武愛人  
 與謝阿蘇尋高校 宮崎 穆 一郎 船井關部尋高校 近藤仙太郎 與謝三河內尋校 三田清吉  
 何鹿東八田尋高校 芦 田 憲 吉 天田天津尋高校 清水 縫 藏 愛宕白川尋高校 青山彦太郎  
 加佐中筋尋高校 平野 謹 二郎 加佐右路下 櫻 岡 馨 櫻岡 馨 愛宕白川尋高校 青山彦太郎  
 第三回 明治四十四年三月三十一日第二部  
 京都嘉樂校 井 口 俊 逸 相樂湯船尋校 大江 肇 何鹿以久田尋高校 西村正三郎  
 天田淳明尋高校 大槻 平 治郎 相樂田田莊第二尋校 堀 田 半 二 中大野尋高校 渡邊 良 人  
 加佐河守尋高校 河 田 賢 一 京都明倫校 正 岡 正 延 竹野上宇川尋高校 高元吉郎  
 相樂中和東尋高校(退職)近 藤 鎌 吉 何鹿物部尋高校 高 倉 憲 治 死亡 淺 枝 定 雄  
 宇治笠取尋高校 村上金三郎 天田上豐富尋高校 芦 田 綱 太郎 廣嶋高等師範 村田平三郎  
 加佐 宮 田 熊 治 郎 京都小川校 宇 都 宮 英 太 郎 京都淳風校 康 田 農 夫 也  
 愛宕格致尋高校 山 本 市 太 郎 加佐神崎尋高校 平 川 茂 雄 竹野袖志尋校 前 田 義 康  
 加佐新舞鶴第一尋高校 菅 井 市 次 京都彌榮校 松 本 隆 吉

第四回 明治四十五年三月三十一日第二部

紀伊深草尋高校 岩 橋 義 一 加佐餘部第一尋高校 池 田 義 雄 與謝弘道尋高校 伊 藤 義 方  
 宇治山階尋高校 岡 田 新 太 郎 相樂加茂尋高校 岡 本 史 郎 三重縣 梅 林 昇  
 船井摩氣校 奧 村 憲 二 紀伊伏見第一尋校 野 々 口 光 三 何鹿吉美尋高校 川 北 盛 市 郎  
 葛野朱雀野第二尋校 山 田 定 孝 大阪 善 峯 海 澄 葛野梅々畑尋高校 松 室 龍 雄  
 天田上川口尋高校 田 中 熊 次 郎 與謝加悅尋高校 淺 田 莊 七 葛野松尾尋高校 並 河 德 平  
 天田公誠尋高校 佐 藤 順 市 紀伊伏見第二尋校 向 山 生 一 北桑造基尋高校 御 崎 善 正  
 綴喜大住尋高校 村 田 朗 何鹿綾部尋高校 四 方 重 太 郎 何鹿志賀尋高校 梅 垣 孝 太 郎  
 第五回 大正二年三月三十一日第二部  
 船井西本梅尋高校 岩 崎 真 一 與謝宮津男子尋高校 川 村 省 三 葛野嵯峨尋高校 石 崎 經 彦  
 船井富田尋高校 谷 垣 伊 三 郎 熊野下佐濃尋高校 飯 田 時 藏 乙訓神川尋校 高 畑 洲 太 郎  
 愛宕田中尋高校 井 上 定 二 京都菊濱校 中 島 東 次 北桑大野尋高校 東 京 音 樂 學 校 池 浪 仙 次 郎  
 中河邊尋高校 倉 谷 匡 藏 乙訓長法寺尋高校 林 宣 一 熊野關尋高校 牧 春 治  
 紀伊陶化尋校 林 一 清 竹野間人尋高校 小 舟 仲 太 郎 相樂上粕尋高校 西 村 米 次 郎  
 乙訓向陽尋校 朝 倉 普 雄 中吉原尋高校 萩 野 尊 治 相樂祝園尋高校 南 榮 造  
 與謝市場岩屋組合尋高 龜 井 源 吾 竹野郷尋高校 柴 田 喜 一 與謝野間尋高校 森 永 義 雄  
 天田精華尋高校 崩 拔 幸 雄  
 第六回 大正三年三月三十一日第二部  
 愛宕上賀茂尋高校 今 澤 美 雄 與謝宮津男子尋高校 井 上 治 三 郎 京都待賢校 西 尾 茂  
 北桑平屋尋高校 西 浦 寬 治 郎 天田大正尋高校 細 川 成 一 京都修道校 大 垣 庄 次 郎

乙訓石作尋校 川井宗健 京都第二高校 河合正治 宇治勸修尋高校 津田幸種  
 相樂恭仁尋高校 中岡源一 加佐新舞鶴第二尋高 上野幸平 竹野島澤尋高校 野田鹿之助  
 船井下粟野高校 日下部正夫 紀伊伏見第二尋校 寺島良治 相樂中和東尋高校 北澤六彦  
 與謝山田尋高校 宮本彌藏

女子之部

第一回 明治十六年七月十四日中等師範科 加納春野 岩崎てる 下野きし 武田いと 木村かね 山田とも  
 大西まつ 乾いそ 恒川さた  
 第二回 明治十六年十二月二十四日中等師範科 松島はな 奥田かね 佐藤なか 谷口いは 後藤きんや 津田はつ  
 清水すなを 平和とき 赤松藤枝 石原いつ 長村きぬ 楠はる枝  
 川俣なみ  
 第四回 明治十七年六月十九日中等師範科 小菅ちか 木戸か  
 第五回 明治十七年七月十五日中等師範科 小川小ます  
 第六回 明治十七年十月十五日中等師範科 辻すみ

第七回 明治十八年二月十六日中等師範科

北條きやう 川瀬よそ 安原はつ 岡本まき 稻田はつ枝 浅井演榮

第八回 明治十八年四月二十八日中等師範科

平田うめ

第九回 明治十八年五月五日中等師範科

南村ゑん 吉川こう

第十回 明治十八年七月十五日中等師範科

植田さい 神田たつ 宮崎つや

第十一回 明治十八年十一月二日中等師範科

田中たよ

第十二回 明治十八年十一月二十五日中等師範科

鈴鹿かめを

第十三回 明治十九年二月十日中等師範科

廣瀬しんじ 勝田すて 乃美あや 芳山みわ 森本あや 井戸もん

第十四回 明治十九年三月五日中等師範科

河井やす

第十五回 明治十九年七月十六日中等師範科

河邊とめ 平野のち

第十六回 明治十九年九月一日中等師範科

牧野光榮 尾見ふみ

並河 かめ 第十七回 明治十九年十一月二十日中等師範科  
 家生 とく 第十八回 明治十九年十一月三十日中等師範科  
 福井 まさ 第十九回 明治十九年十二月二十四日中等師範科  
 福田 千代 第二十回 明治二十年二月十二日中等師範科  
 平島 かす 第二十一回 明治二十年三月十九日中等師範科  
 岡本 あい 第二十二回 明治二十年七月十二日中等師範科  
 川上 順 第一回 明治十九年七月十六日初等師範科  
 村田 ふみ 第二回 明治二十年三月十九日初等師範科  
 田中 はな 第三回 明治二十年六月二十七日初等師範科  
 奥 こと 第四回 明治二十年七月十二日初等師範科

平野 のち 第一回 明治二十一年三月二十九日尋常師範科  
 八木 きぬ 第二回 明治二十二年四月一日  
 蘭 きしえ 第三回 明治二十三年四月二日  
 原井 すゝね 第四回 明治二十三年七月十四日  
 若山 らく 第五回 明治二十四年四月一日  
 田口 みと 第六回 明治二十五年四月一日  
 山根 ハナ 第七回 明治二十六年四月一日  
 河島 末菊 第八回 明治二十七年三月三十一日  
 鈴木 益榮 第九回 明治二十七年三月三十一日  
 安谷 けい 第十回 明治二十七年三月三十一日  
 三浦 かく 第十一回 明治二十七年三月三十一日  
 松井 千代 第十二回 明治二十七年三月三十一日

宇佐美 とむ 福井 なか 寺尾 千鶴枝 澤野 井ひさる  
 恒川 きぬえ 秋田 こう 松田 ふさ 宮澤 てつ 木戸 きよ  
 千賀 こみ 橋詰 ひろ 天岡 りやう 河合 なつ 浅井 たね  
 板倉 かつ 吉田 さわ 蜂須賀 たけ 鈴木 しう 野路 井むら尾  
 高木 てい 塩澤 こま 千村 シメ 小島 タキエ 栗山 ラク  
 森田 とみ 山口 はる 荒木 ひで 河合 きぬ 田守 きみ  
 北村 キヌ 前川 ヨシ 内海 ひさ 谷村 ひさる 進藤 さき  
 青山 すま 西村 なほ 山田 千代 瀧田 やす 坂本 恭  
 本多 八千代 村田 つね 美下 枝 瀬原 昌枝

米澤 のぶ 西池 なほ 花形ぬひ 林 文 松澤ひさ 東ます  
 三浦 さと 藤林 あい  
 第九回 明治二十八年三月三十日  
 上田 てい 新宮 ふ美 濱谷 かう 井上 いわ 浅田 しづ 高蒲池 すみ  
 羽田野 壽江 安部田 住枝 渡邊 とね 永井 かめ 大澤 千鶴  
 第十回 明治二十九年三月三十一日  
 新開 美枝 藤崎 つね 中山 種 野村 壹岐 西村 フク 赤井 むめ  
 野路井みさを 山本 ひで 今井 もと 伊藤 鈴 伊藤 たか 和田 綾子  
 岡本 まさ 土肥 好恵  
 第十一回 明治三十年三月三十一日  
 河邊 直居 白井 たつ 野村 かめ 窪田 八重 天岡 ふさへ 森田 増枝  
 永枝 いさ 中島 みつ 山口 眞砂 石河 とみ 塩野 あくり 大島 としゑ  
 村上 若枝  
 第十二回 明治三十一年三月三十一日  
 今井 かす 小川 さかへ 越智 英代 公莊 つね 岡 きく 山崎 けい  
 田中 てい 水野 ゆき 永田 静江 平岡 八重 碓井 たみ 石川 ヨネ  
 太田 かほり  
 第十三回 明治三十二年三月三十一日  
 石津 松代 石井 幸 西里 やう 上田 和歌 中川 ふみ 前田 かつ  
 加地 こいし 木幡 みか 河村 みゆき 澤井 みね 中村 ふさ 下條 しん

落合 文 森 あきゑ 中川 タネ 森岡 きく  
 第十四回 明治三十三年三月三十一日  
 花房 ケイ 南浮 龜尾 速水 しげ 河村 たま 西池 美津 田中 たま  
 永田 らい 町田 福榮 山本 ろく 福田 櫛 松田 すか 中島 せき  
 牧野 なか 岸邊 かよ  
 第十五回 明治三十四年三月三十一日  
 野村 高子 本多 トク 伊藤 登美 岡本 とみ 今西 文 白川 ひさ  
 原田 千秋 加藤 松野 伴 すゑ 交野 トモ 西尾 ゆき 河島 波衛  
 高島 すゑ 福本 優 中川 タカ 江崎 さわ 井上 てる 明田 さわ  
 大石 惠津 森 らく 大西 サカエ 未益 シナ 古川 よね 望野 瓊枝  
 福岡 景  
 第十六回 明治三十五年四月二日  
 稻葉 香枝 加藤 初恵 服部 君代 河村 わか 西村 みつ 田中 すゑ  
 高橋 タキ 増田 稻尾 高橋 リカ 増山 きぬ 津田 福 荒谷 しゆん  
 楠美 スギ 足立 ハナ 山本 誠 水野 てい 安谷 ソヤ 首藤 カズ  
 松本 正  
 第十七回 明治三十六年四月二日  
 池口 シン 林 ミキ 岩井 ジュン 富岡 ヨシ 畑 テイ 緒方 季  
 谷垣 千代 矢野 茂登 津田 タカ 松澤 マサ 長野 ツ 近藤 マサ  
 山内 京 芦田 シゲ 大富 テル 宮本 静 大塚 テウ 森本 秀

矢野 ヨリ 關 ツル

第十八回 明治三十七年四月二日

井上	村上	原田	久恵	藤馬	ミチ	原田	幹	富森	ヤス
豊住	松尾	劉	順	船橋	ハル	平尾	乙恵	藤澤	照代
吉山	秋山	田中	タキノ	笹井	シヅ	角田	芝枝	森島	愛
中川	藤岡	小笠原	繁	大西	テイ	久藤	章	山香	シユウ
大道	本永	本多	ヨシノ	南部	順	本田	芳榮	安原	竹野
岡野	井上	河島	龜野	大島	よしへ	葛野	ラク	藤丸	柳
小林	上阪	高松	ハナ	寺川	シカ	島津	テイ	安満	ヤスエ
稻葉	長	能勢	成	大橋	そで	岡本	幸登美	矢島	やす
加藤	はな	山崎	長江	福知	しげ	中川	初	福井	ひさ
福井	ごみ	藤夫	佐子	古川	ます	小林	ひで	秋本	みち
上田	はる	鎌野	隆	塩見	たき	西井	ちやう	森下	たね
市原	せき	村田	いよ	加賀山	貞	稻葉	田鶴	吉田	タケナ
原田	はす	吉岡	フジエ	田宮	ハル	濱田	うめ	鶴田	しづ
原	たへ	中村	たか	大道	てる	上田	イク	井上	ミキ
小山	タネ	井上	いと	大富	りう	遠藤	カツ	野口	たか

第二十一回 明治四十年三月三十一日

浅田 種 野田 たね 明田 たみの 工藤 きく 澤井 道子 山本 季  
 三浦 静江 松尾 いく 箕浦 タマ 松井 於正 森下 ます 道家 ハツ  
 鳥山 シゲ

第二十二回 明治四十一年三月三十一日

岩本 愛 龜山 イシ 今村 マキ 藤本 ちよ 伊藤 きぬ 田井 こま  
 原田 科 和田 かの 西川 理子 中尾 よし 小林 能婦 鈴木 ちか  
 太田 キクエ 山口 フミ 奥村 薫 安田 米 大都城 良 田口 ひろ  
 大西 れん 増澤 美枝 渡邊 エン 藤村 ツル 藤原 美津 天岡 やすね  
 舟木 サダ 神原 こと 小畑 政尾 文珠 チョ 兒島 タメ 世木 澤セイ  
 朝子 より 杉山 ッタ 麻田 八重野

簡易科卒業生

明治二十八年九月三十日

藤木 氏 清

多氣善之助

相樂頼田尋校

井上 徳藏

山田 堅吉

大阪北區瀧川校

朝田 松次郎

治田 耀賢

京都尚徳校

京都永松校

藪内啓四郎

小堀 繁



何鹿松興岐尋校 今井正三郎 京都明倫校  
 前村金吉 北桑板橋尋高  
 大森勇治 紀伊陶化尋高  
 朝輝記太留 紀伊伏見油掛尋高  
 船井三宮尋高 竹村善五郎 舊姓片山  
 京都開智校 澤村角之進 京都育濟校  
 京都立誠校 三宅幹次  
 竹野綱野尋高 柴田勝治  
 支那 明治三十三年十月十三日  
 山西省大原師範學堂 宮崎重藏 死亡  
 與謝宮津男子校 前原忠雄 京都第二錦林校  
 井口巳之助 京都市高女校  
 舊姓小澤  
 明治三十四年十月十二日 石崎良虎  
 京津電軌鐵道會社 東佐平治  
 明治三十六年四月二日  
 明治三十六年十月十五日 熊野田村字三分 山城民造 綴喜青谷尋高  
 京都錦林校 舊姓奧本 山村三郎  
 植西吉次郎 天田中夜久野校  
 秦貫治郎 與謝宮津女子尋高  
 佐々木順照 死亡 舊姓片山  
 安本禎三郎 久世富野校  
 齋藤竹雄 京都郁文校 舊姓中山  
 中村正吉 何鹿西八田尋高  
 杉森正己 岩田景雄  
 早田竹千代 前原丈吉  
 有岡繁藏 小林又治郎  
 渡邊竹次郎 渡邊三津男  
 田中齊登  
 奧村条藏 加佐明倫尋高  
 梅原正一 京都豊園校  
 橋本延一郎  
 楠正龍

死亡 明治三十七年四月二日 烏岡武夫  
 明治三十七年十月十一日 藤田保藏

相樂狛田 藤田保藏 米田蒔  
 京都仁和校 舊姓梅田村松康三郎 愛宕岩倉村 藤井美三  
 明治三十八年三月三十一日  
 明治三十八年十月十四日 久世大久保尋高 太田乙次郎 稻垣正三

乙訓長法寺尋校 西田和三郎 愛宕田中尋校 上田靜一 久世御牧尋高  
 綴喜大住尋高 黑崎織一 中山三乃藏 川島武藏  
 明治三十九年七月二十四日  
 京都仁和校 舊姓岡本市原鶴之助 宇治山階尋高 土橋秀應  
 明治四十年七月二十四日

三重縣 岩島正造 紀伊下鳥羽尋高 奧村郁太郎 京都富右校 土肥晋一  
 北島甚之助 舊姓塚本 藤井歌之助 天田中六人部尋高 由良禎三  
 宇治山階 梅田秋男

第二種講習科修了生  
 第一回 明治四十三年三月二十一日 岩根國三郎 何鹿物部尋高 梅原建治郎 竹野中濱尋高 稻本淺治郎  
 與謝筒川尋高

與謝本庄尋高校	山下信道	西村增太郎	喜旦政二
何鹿睦合尋校	大槻 糸吉	森 求馬	神田幸太郎
何鹿東八田尋校	吉田八百藏	紀伊下島尋校	中川宗三郎
與謝宮津男子尋校	上山兵藏	京都市彌榮校	
第二回 明治四十五年三月三十一日			
熊野下佐濃尋校	奥田 善一	船井育英尋校	井 尻 薰
相樂加茂尋高校	高見嘉久治	竹野同人尋高校	高 橋 俊
天田菟原尋高校	山口寅之助	死亡	藤 河 勳
何鹿小畑尋校	栗野彌之助	紀伊下島尋校	鈴木喜重郎
第三回 大正三年三月三十一日			
船井富本尋高校	今村 正勝	船井西本梅尋高校	西田 佐一
北桑鶴ヶ岡尋高校	岡本清三郎	船井下和知尋高校	奥村榮一郎
船井三ノ宮尋高校	谷 一二三郎	綴喜草内尋校	中川 好治
何鹿佐賀尋高校	山下湖重郎	船井四ノ谷尋高校	船越伊兵衛
船井檜山尋高校	小林儀太郎	船井桐ノ庄尋高校	青柳德次郎
			堀江保次
			奥村良太郎
			中矢金次郎
			船越繁太郎

學校創立以來卒業生并ニ修了生人員		(大正三年六月)	
本	科	豫備科	講 習
第一部	男 女	第一種	男 女
第二部	男 女	第二種	男 女
計	男 女	計	男 女
	一、三三三 四五八		一、三八五 六三三
	一、四八七 四五八		一、九八八 二四六
	一五八		一、三八五 六三三
	一五八		一、九八八 二四六
學校編制及生徒數			
(大正四年三月三十一日現在)			
學 年	定 員	現 員	在
第一部 第一學年	八〇	八〇	八四
同部 第二學年	八〇	八〇	七三
同部 第三學年	八〇	八〇	七九
同部 第四學年	八〇	八〇	六九
第二部 講習科	四〇	四〇	四〇
計	四〇〇	四〇〇	三五六

(備考)

本文ノ外、現ニ正教員ノ資格ヲ有スル者ヲ四十名ヅ、三週間、第一種講習科生トシテ一年ニ  
 五回師範學校ニ召集シ學力補習ヲ行フ  
 現在生徒ノ父兄職業別

(大正四年二月調)

官公吏	一三	農	二六九	庶業	三〇
教員	三八	工	一五		
職員	四	商	二六		
計					三九五

生徒出身部市別表

(大正四年三月三十一日現在)

部市名	第一學年				第二學年				第三學年				第四學年				計			
	一	二	三	四	一	二	三	四	一	二	三	四	一	二	三	四	一	二	三	四
京都市	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
愛宕市	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
乙訓野	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
紀伊	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
久世	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
宇治	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
綴喜	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
相樂	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
北桑田	九	五	三	一	一	一	一	一	〇	三	二	二	二	一	五	二	三	三	五	〇
計	九	五	三	一	一	一	一	一	〇	三	二	二	二	一	五	二	三	三	五	〇

年	度	生徒ノ父兄資産調		人員	直		國稅		納稅		額
		國稅納稅額平均	人員		百圓以上	百圓以上	拾圓以上	拾圓以下			
南桑	井田	一〇	四	八	八	四	一	三	三	三	三
何鹿	佐田	七	五	九	八	一	四	二	四	三	三
天加	中	六	二	一	二	一	三	一	四	一	三
與謝	野	二	六	三	三	一	七	一	四	四	三
竹野	野	一	二	〇	二	一	四	一	五	四	三
熊野	外	五	一	六	八	二	九	二	五	五	三
管計		八	四	七	九	一	四	二	四	三	三
南桑		一〇	四	八	八	四	一	三	三	三	三
何鹿		七	五	九	八	一	四	二	四	一	三
天加		六	二	一	二	一	三	一	四	一	三
與謝		二	六	三	三	一	七	一	四	四	三
竹野		一	二	〇	二	一	四	一	五	四	三
熊野		五	一	六	八	二	九	二	五	五	三
管計		八	四	七	九	一	四	二	四	三	三
南桑		一〇	四	八	八	四	一	三	三	三	三
何鹿		七	五	九	八	一	四	二	四	一	三
天加		六	二	一	二	一	三	一	四	一	三
與謝		二	六	三	三	一	七	一	四	四	三
竹野		一	二	〇	二	一	四	一	五	四	三
熊野		五	一	六	八	二	九	二	五	五	三
管計		八	四	七	九	一	四	二	四	三	三
南桑		一〇	四	八	八	四	一	三	三	三	三
何鹿		七	五	九	八	一	四	二	四	一	三
天加		六	二	一	二	一	三	一	四	一	三
與謝		二	六	三	三	一	七	一	四	四	三
竹野		一	二	〇	二	一	四	一	五	四	三
熊野		五	一	六	八	二	九	二	五	五	三
管計		八	四	七	九	一	四	二	四	三	三
南桑		一〇	四	八	八	四	一	三	三	三	三
何鹿		七	五	九	八	一	四	二	四	一	三
天加		六	二	一	二	一	三	一	四	一	三
與謝		二	六	三	三	一	七	一	四	四	三
竹野		一	二	〇	二	一	四	一	五	四	三
熊野		五	一	六	八	二	九	二	五	五	三
管計		八	四	七	九	一	四	二	四	三	三
南桑		一〇	四	八	八	四	一	三	三	三	三
何鹿		七	五	九	八	一	四	二	四	一	三
天加		六	二	一	二	一	三	一	四	一	三
與謝		二	六	三	三	一	七	一	四	四	三
竹野		一	二	〇	二	一	四	一	五	四	三
熊野		五	一	六	八	二	九	二	五	五	三
管計		八	四	七	九	一	四	二	四	三	三

大正三年度	一部 二二・九三一 二部 四三・三〇二	七九 三二	三三 三	五七 一三	三五 一三	二五 七	九 四
-------	------------------------	----------	---------	----------	----------	---------	--------

生徒身體狀況

(大正三年調)

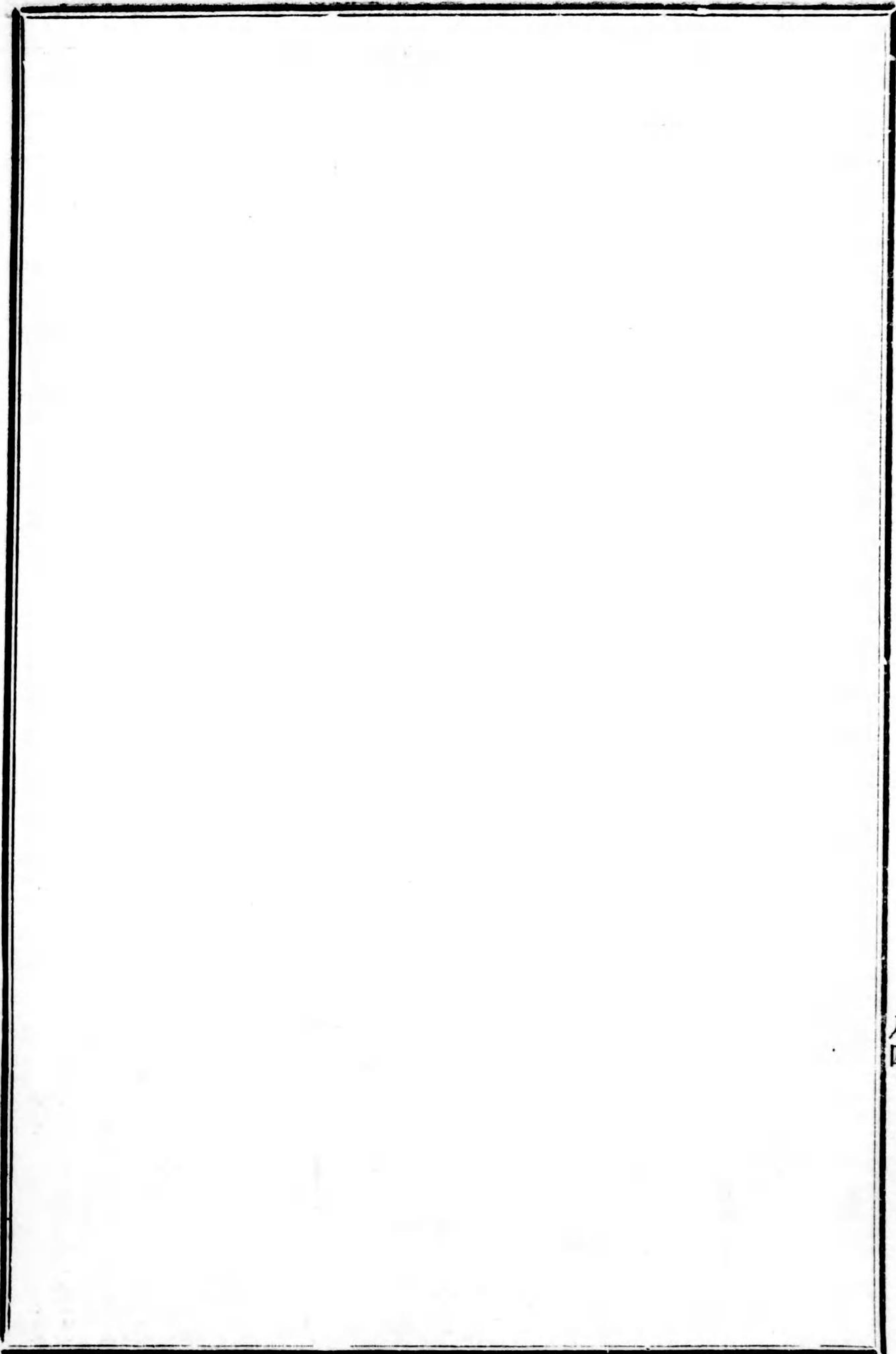
(括弧内ノ分ハ全國師範學校男生徒ノ平均體格ナリ)

年	齡	身長	體重	胸圍(常時)	胸圍盈虛ノ差	身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商
十	六	五・一四 (五・一二)	一三・三〇三 (一二・五六〇)	二・四四 (二・五四)	〇・二六 (〇・二六)	二・四四 (二・四五)
十	七	五・二五 (五・二〇)	一三・七九八 (一三・三三〇)	二・六三 (二・六〇)	〇・二六 (〇・二八)	二・六三 (二・五六)
十	八	五・三一 (五・二六)	一四・〇三〇 (一三・九七〇)	二・六八 (二・六五)	〇・二六 (〇・二八)	二・六四 (二・六五)
十	九	五・三五 (五・三〇)	一五・〇七四 (一四・九五五)	二・七二 (二・六九)	〇・二五 (〇・二八)	二・八二 (二・六九)
二	十	五・三五 (五・三〇)	一四・五六〇 (一四・六七〇)	二・七二 (二・七四)	〇・二六 (〇・二八)	二・八〇 (二・七五)
二	十一	五・三五 (五・三〇)	一五・二一五 (一四・六七〇)	二・七一 (二・七四)	〇・二五 (〇・二八)	二・八四 (二・七七)
二	十二	五・三〇 (五・三〇)	一五・二六八 (一四・七七〇)	二・六八 (二・七五)	〇・二六 (〇・二八)	二・八五 (二・七九)
二	十三	五・三六 (五・三〇)	一四・八九六 (一四・八五〇)	二・六五 (二・七五)	〇・二六 (〇・二八)	二・七七 (二・八〇)

第十一章 經費

經常費豫算累年比較

種目	明治四十五年	大正二年	大正三年
師範學校費	五七,三二八・一五〇	五六,三四七・八五〇	五八,三六五・九二〇
雜給	一九,一七〇・〇〇〇	一九,一七〇・〇〇〇	二〇,二五六・〇〇〇
生徒諸給	三,四九七・九〇〇	三,四九七・九〇〇	三,四三四・六〇〇
校費	二五,七七二・九五〇	二五,八四三・六五〇	二七,〇四九・〇六〇
修繕費	五,三八七・六〇〇	四,七三一・六〇〇	四,六〇七・六〇〇
附屬小學校費	一,四三七・〇〇〇	一,四二一・〇〇〇	一,一七三・〇〇〇
國庫納金	一,八五九・〇〇〇	一,八五九・〇〇〇	一,六三二・一〇〇
總計	二〇,三七〇・〇〇〇	二〇,三七〇・〇〇〇	二一,四五六・〇〇〇



大正四年四月十七日印刷  
大正四年四月二十日發行

# 京都府師範學校

印刷者 中西勝太郎  
京都市上京區下立賣通小川東入  
西大路町十番戶

印刷所 中西印刷合名會社



終

